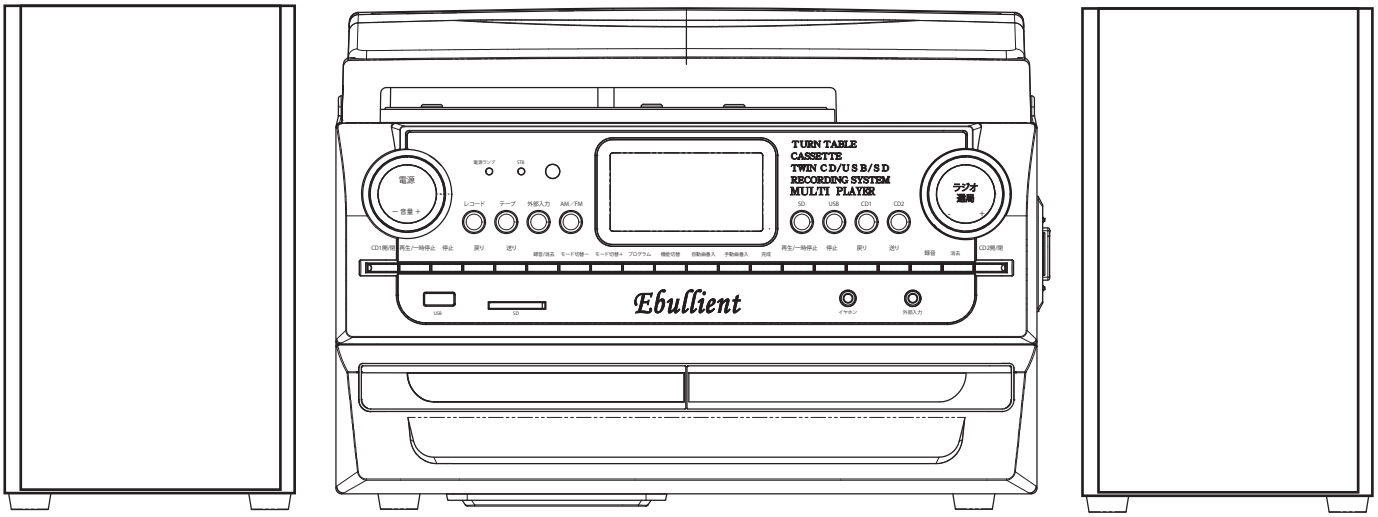
取扱説明書　　型番:TCDR-286WC

CDにコピーできる多機能プレーヤー

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



輸入元：株式会社とうしょう
住　所：〒340-0802　埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1
カスタマサポート：048-997-2244

目　次

2. 目次・仕様
3. 安全上の注意
4. 録音用CD-R/RWについて
4. 著作権についての注意
5. 各部の機能と付属品
6. リモコンの各部名称と機能
6. 電池の交換方法
7. ご使用の準備
8. CD/カセットテープの取扱注意事項
9. CDプレーヤー（CD1）の使い方
10. CDからCDへの録音方法
11. CDからUSB/SDへの録音方法
12. レコードプレーヤーの使い方
13. レコードからCDへの録音方法
14. レコードからUSB/SDへの録音方法
15. カセットプレーヤーの使い方
16. カセットテープからCDへの録音方法
17. カセットテープからUSB/SDへの録音方法
18. USB/SDからCDへの録音方法
19. 外部入力の使い方/外部機器から
19. CD/USB/SDへの録音方法
20. ラジオの使い方
21. 完成処理（ファイナライズ）
21. CD-RW完成処理解除方法
22. SDの使い方/曲データの消去方法
23. USBの使い方・曲データの消去方法
24. USB⇔SDの相互録音方法
25. 日常のお手入れ
25. レコード針の交換方法
26. こんなとき/故障かな？と思ったら
27. ご相談窓口のご案内
使い方/修理相談窓口
保証書

仕　様

●電源
AC100V
●本体サイズ
サイズ：約W30.3xH22xD29cm
重量：約 5.2Kg
●アンプ
消費電力：28W
周波数特性：60Hz～ 20KHz
●スピーカー
サイズ：約W14.5xH23.4xD13.6cm
重量（1個）：約 1Kg
出力：最大5Wx2
インピーダンス：4Ω
●入力端子
本体正面外部入力端子
：3.5mmφステレオミニジャック
●出力端子
外部スピーカー出力端子
：R／L ピンジャック端子
イヤホン：3.5mmφステレオミニジャック
外部出力端子：3.5mmφステレオミニジャック

●レコード
モーター：DC方式
駆動方式：ベルトドライブ
回転数：33-1/3・45・78rpm
信号雑音率：50db（IEC-A）
カートリッチ：セラミックステレオカートリッチ
針：サファイア針
●CD
周波数特性：60Hz～ 20KHz +/-4db
信号雑音率：50db（IEC-A）
右側：CD1再生専用
左側：CD再生 / 録音機能
●カセット
ワウ・フラッター：0.4%（WRMS）
周波数特性：125Hz ～ 6300Hz +/-6db
●ラジオ（ワイドFM対応）
FM：76MHz ～ 108MHz
AM：530KHz ～ 1600KHz
●SDカード /USBメモリー　16GBまで使用可能

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
⚠	△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。
また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）

⚠ 注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。

●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

録音用CD-R/CD-RWについて

⚠注意
- 録音に使用できるディスクは、音楽録音用のCD-RとCD-RWです。CD-Rに書き込んだデーターは消すことはできません。CD-RWは記録したり消したりすることができます。
- CD-R、CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ／レコード（アナログ製品）からの録音の場合、CD記録ソフトの特性などにより録音・再生できないことがあります。
- CD-R、CD-RWディスクはメーカーによっては、本機の性能を十分発揮できない場合がありますので、あらかじめテストをお勧めします。

CD-Rについて

- 録音後は音楽データーを消すことはできません。
- 完成処理（ファイナライズ処理）の前であれば、追加録音することができます。

CD-RWについて

- 録音後、削除ボタンにて最後に録音された曲から順番に1曲づつ消すことができます。また全ての曲を一度に消すこともできます。
- 完成処理（ファイナライズ処理）の後に曲を消す場合は、削除ボタンにて全ての曲を消してください。

注意

※市販のCDプレーヤー（特に古い機種）によってはCD-RW再生機能が無いものがありますので、再生することができません。

※CD-Rは一度録音しますと消すことができませんので、失敗が心配な場合はCD-RWを練習用としておすすめします。

著作権についての注意

⚠警告

あなたがレコードやCD、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断では使用できません。

（社）私的録音保証金管理協会
TEL. (03)6205-4701

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（CD、ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って、音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したCDなどの使用には一定の制限があります。
たとえば、

- 放送やレコード、CD、録音物から録音したCDを売ったり配ったりすること、あるいは、貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードやCD、録音物またはそれから録音したCDや放送から録音したCDを営利（店のBGMなど）のために使用すること。

これらの場合には、著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会（JASRAC）もしくは最寄りの支部におたずねください。

各部の機能と付属品

前 面

ダストカバー
リモコン受光部
スタンバイランプ
電源ランプ
電源（押す）
音量（回す）
機能切替ボタン
ターンテーブル
ディスプレイ
ラジオ選局ツマミ
機能切替ボタン
カセット挿入口
操作ボタン
イヤホン接続端子
外部入力端子
操作ボタン
USB ポート
SD カードスロット
CD プレーヤー
（CD1）
CDレコーダー
（CD2）

※背面「主電源」をONにしないと表面の電源は入りません。

右側面

カセット
挿入口
カセット
取出しボタン

後 面

FMアンテナ線
電源プラグ
主電源
フューズソケット
外部出力端子
スピーカー端子

〔付属品〕

リモコン

EP（ドーナツ盤）用アダプター
※ターンテーブル上部にセットされています。

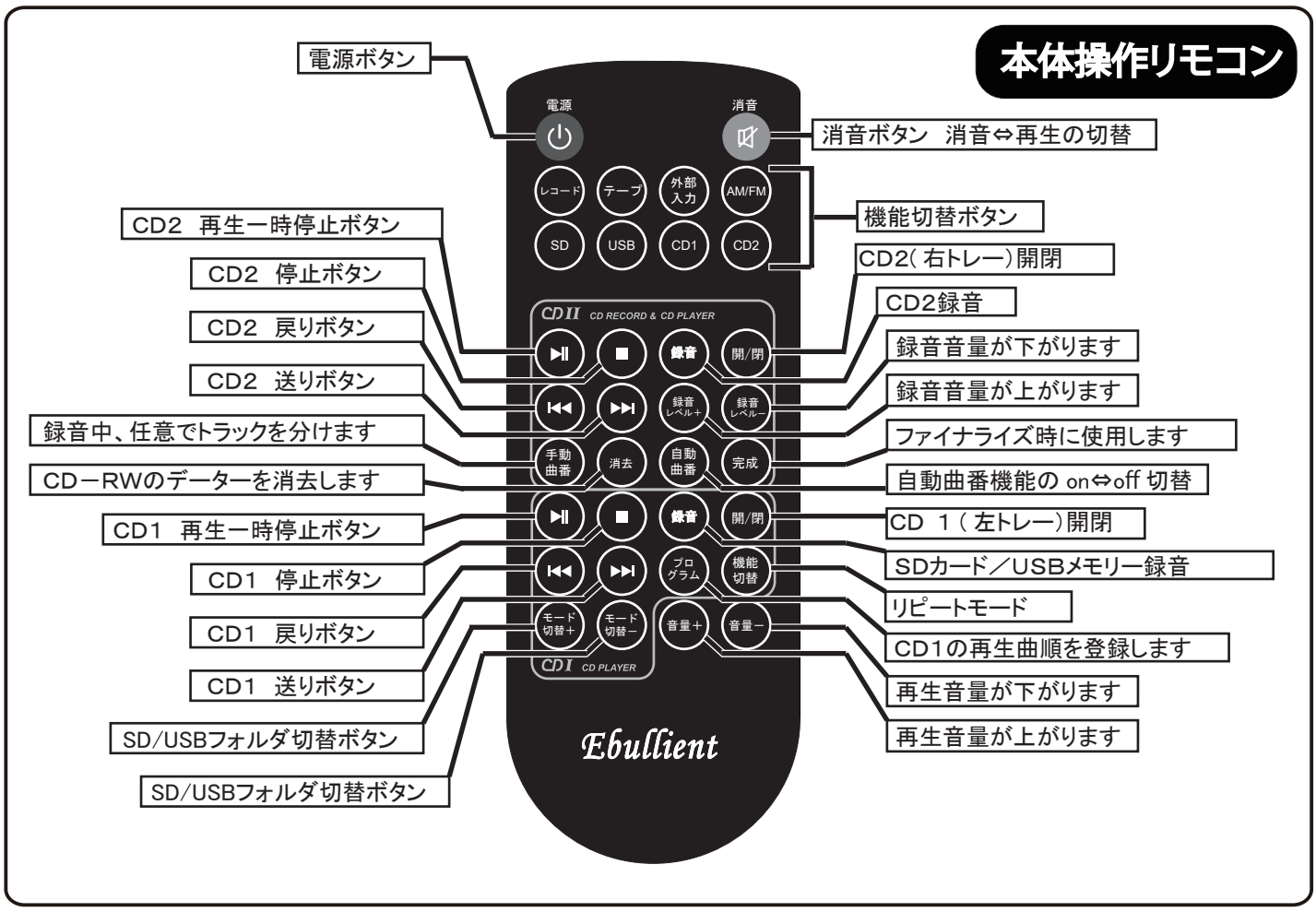
テスト用ボタン電池
CR2025

付属の「OPENER」を使用して
リモコン電池フタ部を空けます

ステレオケーブル（3.5mmミニジャック）

取扱説明書

リモコンの各部名称と機能



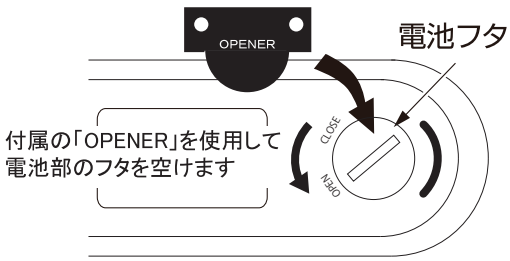
電池の交換方法

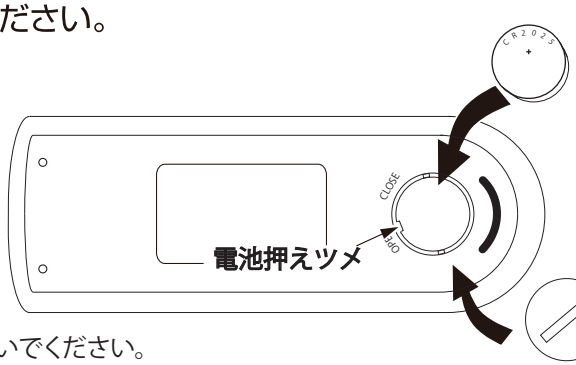
●電池の交換方法（入れかた）

●ボタン電池（CR2025)を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。＋と－の向きを正しく入れてください。付属乾電池は機能テスト用電池です。

●使用範囲は2m以内です。

●リモコンは本体に向かって操作してください。





①平らな面（+）を上にして電池を入れます。
電池押えツメの下に入れて下さい。

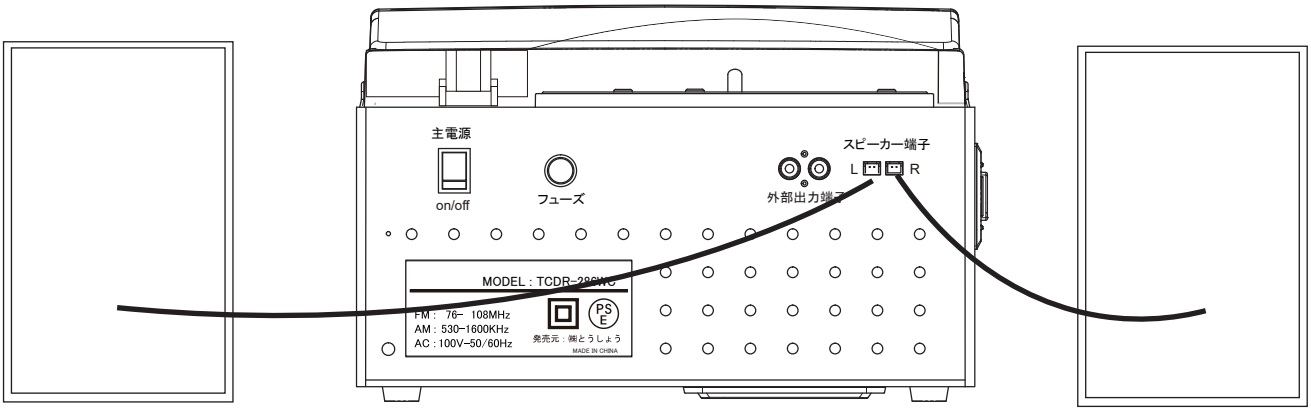
②電池フタをはめて CLOSE の方向に回します。

注意：電池は乳幼児の手の届くところに絶対に置かないでください。
万一、飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。また、乳幼児は機器から電池を取り出し、飲み込む場合がありますので十分に注意してください。

ご使用の準備

●スピーカーの接続

■本体背面のスピーカー端子にスピーカーコネクタージャックを差し込みます。
■スピーカー自体に左右の区別はありません。
■本体背面「スピーカー端子R／L」白い端子部分にスピーカーコネクタージャックを差込みます



● 電 源 の 準 備

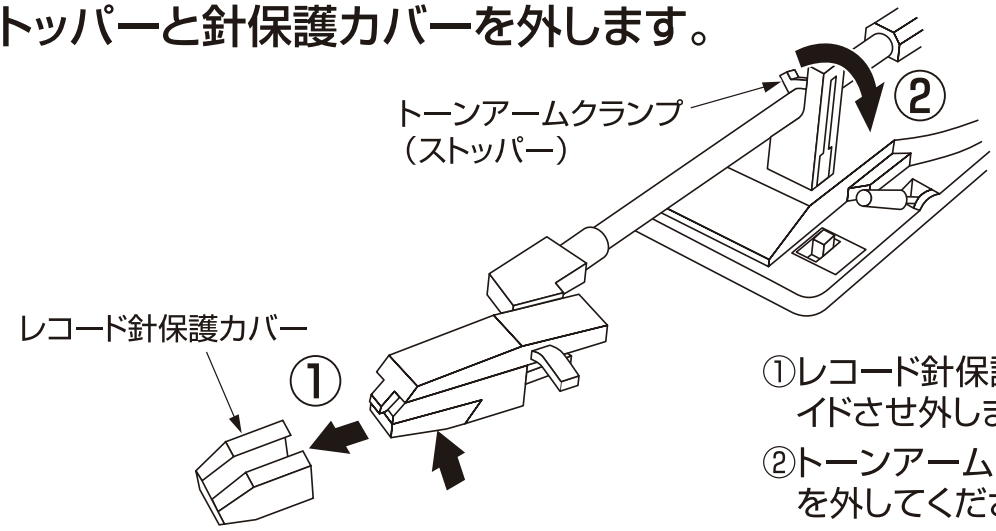
■電源コードの結束を外す。

■電源プラグ先端の白いカバーを外す。

■本体背面の「主電源」がOFFになっている事を確認し電源プラグをコンセントに差し込む。
しっかりコンセントに差込み後、背面の「主電源」をONにします。

■電源は50Hz／60Hz共用です。延長コード、テーブルタップ、OAタップのご使用は他家電製品や電圧低下の影響により、誤作動や故障の原因となりますのでお止め下さい。

●ストッパーと針保護カバーを外します。



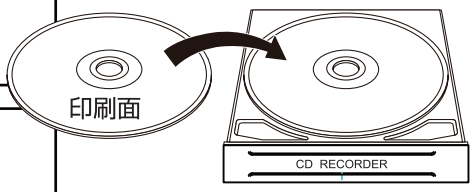
①レコード針保護カバーを前方にスライドさせ外します。

②トーンアームクランプ（ストッパー）を外してください。

※注意　針先／赤色、外してしまうと音が出ませんので
交換以外は触れないようにご注意ください。

CD/カセットテープの取扱注意事項

❖使用できるCDは・・・
・CD－R／CD－RWと購入時のラベルや印刷面に記載
※VCD、DVD、Ble-rey、音声多重CDはご使用できません。
※本機はCDの標準規格に従って設計されています。
※規格外のCDの場合動作できない恐れがあります。



❖CDを取扱うときの注意
・ディスクをCDトレイにセットするときは「印刷面」を上にして
セットします（キラキラ光っている「読取面」を下にセット）
・「読取面」に指紋、汚れがあるときは、必ずやわらかいの布で中央
から外の方向へ軽く拭き汚れを取り除きます。
・使用後のディスクは、ゴミや汚れ、キズ等を防ぐために必ず、保護
ケースに入れて保管してください。
・「読取面」には直接手「指」を触れないように持ってください。
・ベンジンやシンナー、アルコール、レコードクリーナー、静電気防止
剤などの化学溶剤はディスクを傷めますので使用しないでください。
・ラベル等を「読取面」に絶対に貼らないでください。
・ディスク「印刷面」にタイトル、日付け、曲名などを書き込む場合は
専用のペンを使用してください。
※先のとがった（ボールペン）の場合「印刷面」が削られ読取
の損傷になりますので使用しないでください。

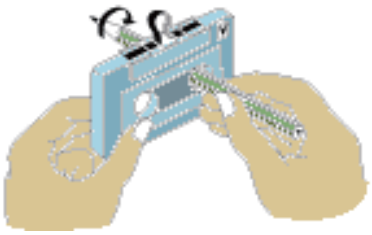
表面
メーカー名やＣＤ－Ｒ／ＣＤ－ＲＷ
と記載がある、または真っ白／カラー
の印刷がある

キラキラ光っています
読取面、指紋や汚れがあると読取が
できず再生できません　裏面

❖本機使用後のメディアについて
・CD、カセットテープ、レコードは使用後、必ず本機から取出しケース
で保管ください。（本機にいれたままにしないでください）

❖カセットテープの取扱について・・・
・本機では「ノーマルポジションテープ60分以内」をご使用ください。
60分以上の90分/120分テープはテープ自体が薄いため、再生
ヘッド部やピンチローラー部に巻きつく恐れがあります。
・音声多重テープをご使用の場合は、片方のスピーカーからしか
音声がでません。

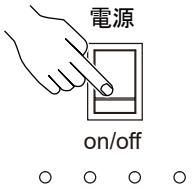
❖テープを取扱うときの注意
・本機使用後は必ず、本機から取出し保護ケースで保管ください。
・テープをセットするとき必ずテープの「たるみ」をとってから使用して
ください。たるんだまま使用するとテープが内部で絡まってしまい
故障の原因となります。（鉛筆/ボールペンなどを使用したるみを取っ
てからセットしてください）



CDプレーヤー(CD1)の使い方

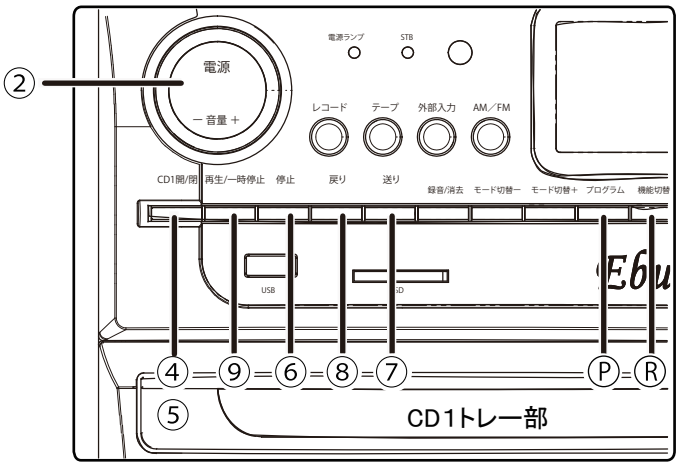
①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。



※主電源がOFFの場合は本体正面の電源ボタンを押しても電源は入りません。

①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③CD１ボタンを押す。　「NO」表示
④CD１開閉ボタンを押しCDトレーを開く。「OPEN」表示
・文字/写真が印字面を上にしCDをセットする。
⑤CD１開閉ボタンを押しCDトレーを閉じる。「CLOS」表示
・必ず開閉ボタンで閉じる(指で押込まない)
・「００１」表示 CDは自動再生されスピーカーから音声が流れます。
※最初からお聞きになる場合は停止ボタンを押し、再度再生/一時停止ボタンを押し再生します。
⑥CDの再生が終わったら、停止ボタンで止めます。
⑦曲を進める→送りボタン(長押しで早送り)
⑧曲を戻す　→戻りボタン(長押しで早戻し)
⑨一時停止ボタン、一時的に停止し、もう一度押すと再生を再開します。

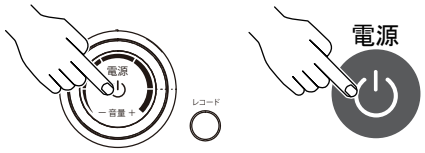


②本体の電源を入れる

●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。

本体電源ボタン

※ディスプレイが「青色」点灯します。

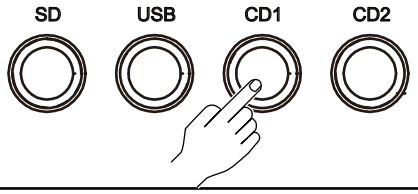


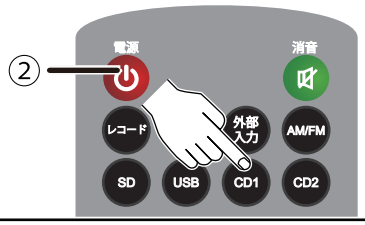
リモコン電源ボタン

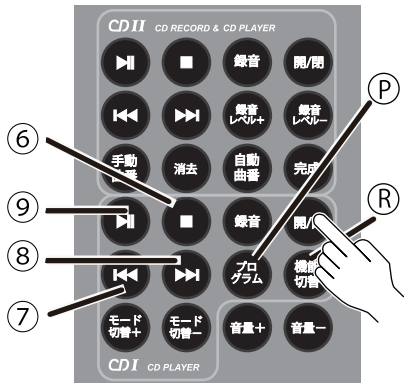
③CD１ボタンを押す

●本体またはリモコンの機能切替ボタンの「CD１」ボタンを押します。

機能切替ボタン







Ⓟプログラム再生機能

最大 20 トラックまで再生する曲を予め登録する事が可能です
①CDを挿入後、CD1停止ボタンでCDの再生を停止
②ディスプレイ下のⓅプログラムボタンを押す→画面の左隅に「MEM」が点滅表示
③画面中央に「P01」が点滅表示→CD1送り/CD戻りボタンで登録したい曲番を点灯表示
④Ⓟプログラムボタンを押すと「P02」が表示、③⇔④を繰り返し登録操作する
⑤登録が完了したら再生ボタンを押すと登録した曲順で再生される

Ⓡ リピート再生機能

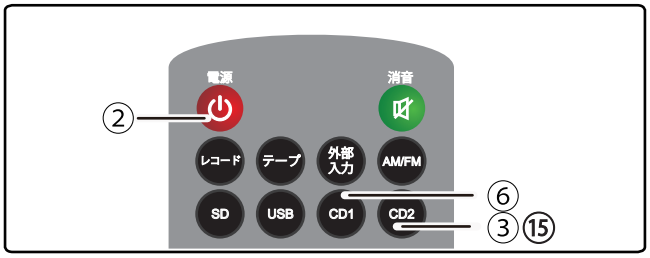
再生中のCDまたは1曲を繰り返し再生する事が可能です
①CDを挿入後、CD1再生中にディスプレイ下のⓇ機能切替ボタンを押す
②押す度にディスプレイ上に以下のマークが表示されます
C ＝再生中の1曲のみ繰り返し再生します
ALL ALL=CD全体を繰り返し再生します

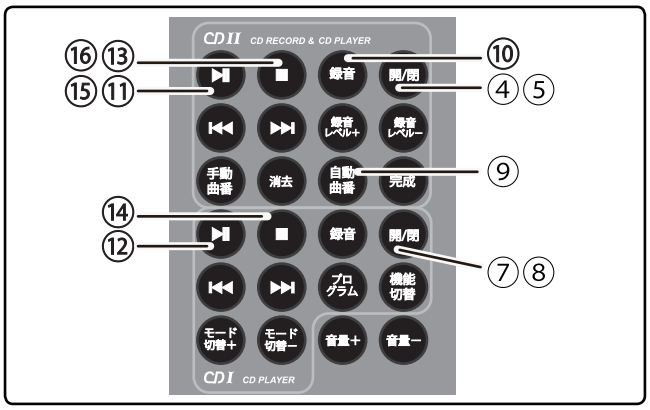
注意！

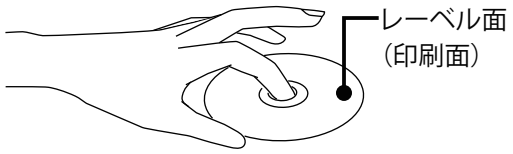
CDが汚れていたり、傷があると読取ができなく再生しません。
再生出来ない場合は読取面「キラキラ光っている面」をキレイにしてから再度お試しください。

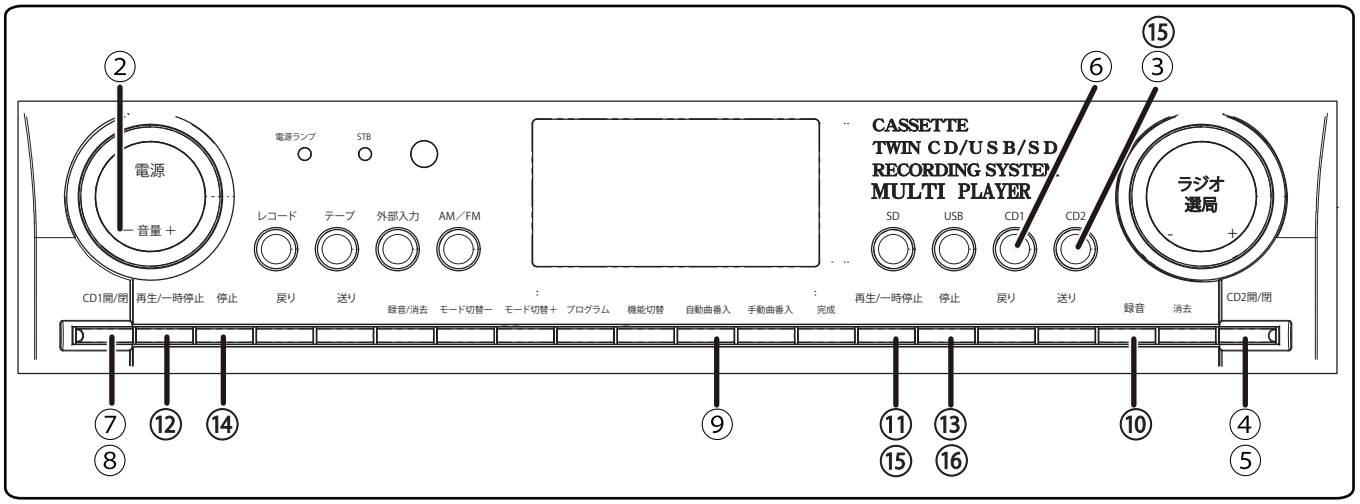
CDからCDへの録音方法

①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③CD2ボタンを押す。　「---NO disc 」表示
④CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを開く。
「OPEN」表示
・文字/写真が印字面を上にしCDをセットする。
⑤CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを閉じる。
・必ず開閉ボタンで閉じる(指で押込まない)
・空のCD(認識可の場合)「000 00:00」表示
・エラー（認識否の場合）「NO disc 」表示
・追加録音の場合は「例 015 21:25」曲数秒数表示
⑥CD 1 ボタンを押す。「NO 」表示
⑦CD 1 開閉ボタンを押しCDトレーを開く。
「OPEN 」表示
・文字/写真が印字面を上にしCDをセットする。
⑧CD 1 開閉ボタンを押しCDトレーを閉じる。
「CLOS 」表示
・必ず開閉ボタンで閉じる(指で押込まない)
・曲数 例:「014」表示CD 1 は自動再生されます
ので停止ボタンで再生を停止します。
⑨自動曲番入ボタンを押す。「AUTO TRACK 」表示
⑩録音ボタンを押す。「REC 」表示
⑪CD 2 再生ボタンを押す。「録音再生秒数」表示
⑫CD 1 再生ボタンを押す。「曲数/再生秒数」が交互に
表示されスピーカーから音声が流れます。
⑬録音が終わったら、CD 2 停止ボタンで録音終了。
⑭CD 1 停止ボタンで再生を停止します。
⑮録音したCDを聴くにはCD 2 ボタン押し、CD 2 再生
ボタンで録音した曲を再生します。
「録音した曲数分数秒数」表示
⑯録音が確認できたら停止ボタンで再生を停止します。
※仮録音完了です。「CD 2のみ再生できます」
※ファイナライズ方法はP.21参照ください





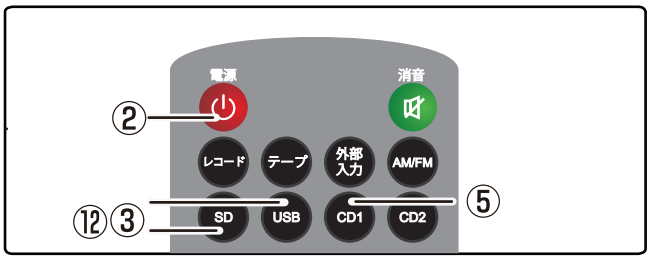


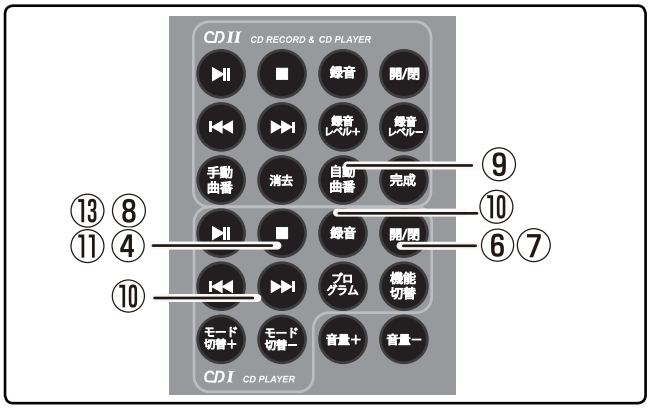


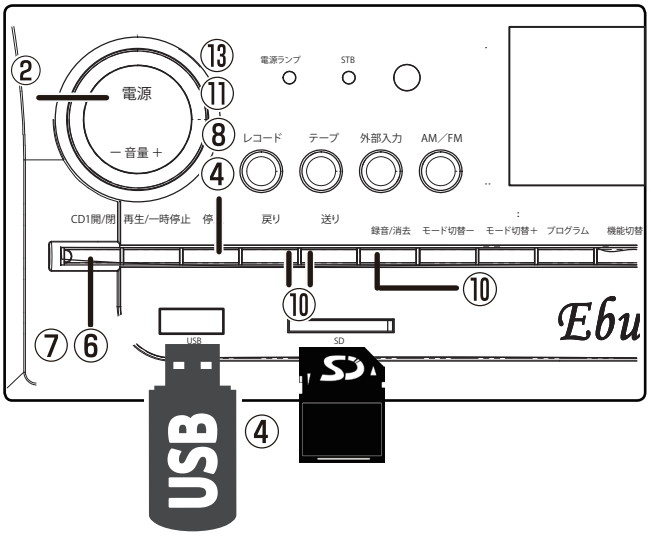
注意！　CDが汚れていたり、傷があると読取ができなく再生しません。
再生出来ない場合は読取面「キラキラ光っている面」をキレイにしてから再度お試しください。

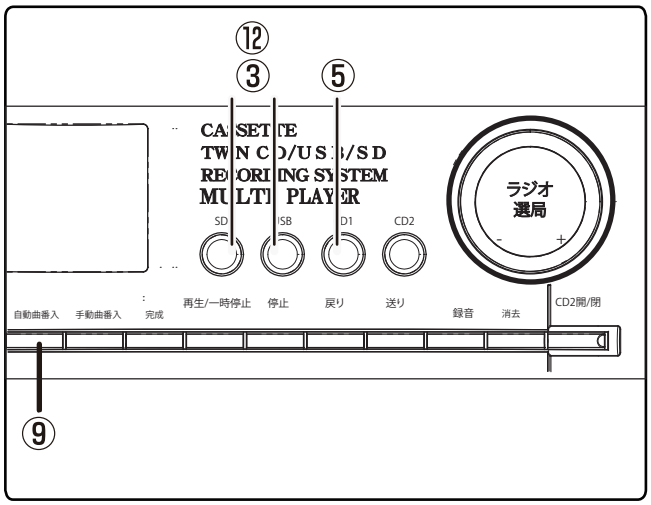
CDからUSB/SDへの録音方法

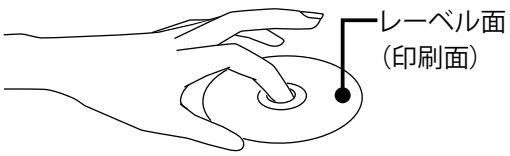
①本体背面の主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンでUSBまたはSDボタンを押す。
・USBメモリーの場合　「 USB / NO 」表示
・SDカードの場合　「 CARD /NO 」 表示
④ポートにメディアを差込みます。「曲数/秒数表示」
・USBメモリーの場合「 例 004 / NOF」表示
・SDカードの場合　「 例 004 / NOF」表示
※自動再生しますので停止ボタンで再生を停止します。
⑤本体/リモコンでCD1ボタンを押す。「---NO 」表示
⑥CD1開閉ボタンを押しCD1トレーを開く。「OPEN」表示
・文字/写真が印字面を上にしCDをセットする。
⑦CD1開閉ボタンを押しCD1トレーを閉じる。「CLOS」表示
・必ず開閉ボタンで閉じる（指で押込まない）
・音楽CD（認識可の場合）「NO TOC/例 015 」表示
・エラー（認識否の場合）「NO 」表示
⑧自動再生しますので停止ボタンで再生を停止します。
⑨自動曲番入ボタンを押す。「AUTO TRACK 」表示
⑩録音ボタンを押す。「REC /ONE 」表示
・送り/戻りボタンを押し「ALL」表示中に録音ボタンをもう一度押します。「WAI」表示全ての曲が録音されます。
・**「ONE 」表示**のままの場合は一曲だけ録音されます。
「WAI」表示。スピーカーから音声が流れます/録音中
⑪録音終了時は停止ボタンを押す。
・CDの再生停止／USB/SDの録音停止します。
⑫録音したUSB/SDを聴くにはUSB/SDボタン押します。
・録音した曲が自動再生しスピーカーから音声がでます。
⑬録音が確認できたら停止ボタンで再生を停止します。
⑭追加録音をする場合は録音残容量を確認し⑥から繰り返し録音操作を行ってください
※USB/SDへの録音の場合は完成処理（ファイナライズ）は必要ありません。
※USB/SDへの録音または再生はどちらか片方のみです。両方同時に再生/録音はできません。
※USB/SDを使用する場合は中に新しいものをご使用してください。写真や他のプレーヤー等でのデータが入っている場合互換性の問題で不具合の原因になります。









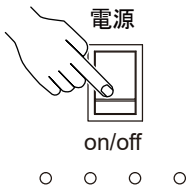


注意！ CDが汚れていたり、傷があると読取ができなく再生しません。
再生出来ない場合は読取面「キラキラ光っている面」をキレイにしてから再度お試しください。

レコードプレーヤーの使い方

①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。



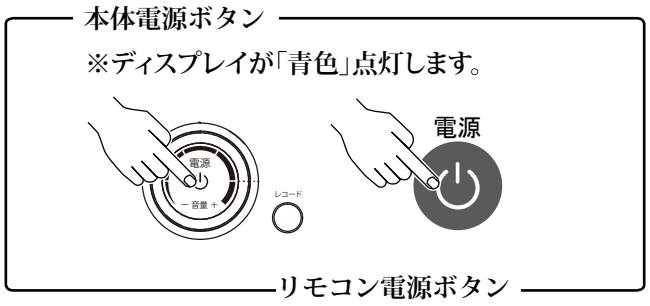
※主電源がOFFの場合は本体正面の電源ボタンを押しても電源は入りません。

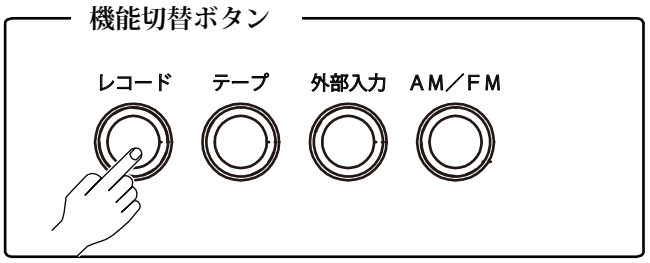
①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンでレコードボタンを押す。「 PHON 」表示
④ターンテーブルにレコードをセットし、回転数を合わせます。「EP盤/ドーナツ盤」の場合はアダプターをセットします。
⑤レコードに針をのせます。
・アームリフトレバーの場合アームリフトレバーを奥に倒し、レコードの開始位置に「指で」合わせ、アームリフトレバーを手前にゆっくり倒します。
・スピーカーから音声が流れます。
⑥終演時はアームをアームレストに「指で」戻します。
⑦B面（裏面）または別のレコードを聴く場合は一度アームをアームレストに戻しB面（裏面）または別のレコードをセットし④から繰り返します。

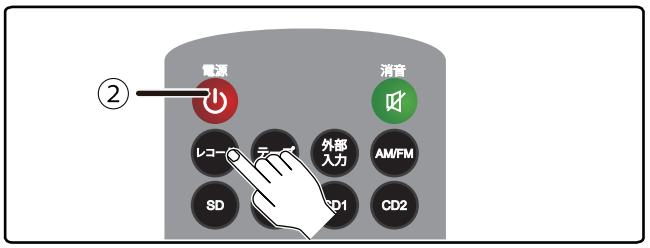
※アームをアームレストに戻すときはアームリフトレバーは使用しないでください。指でしっかりと戻してください。

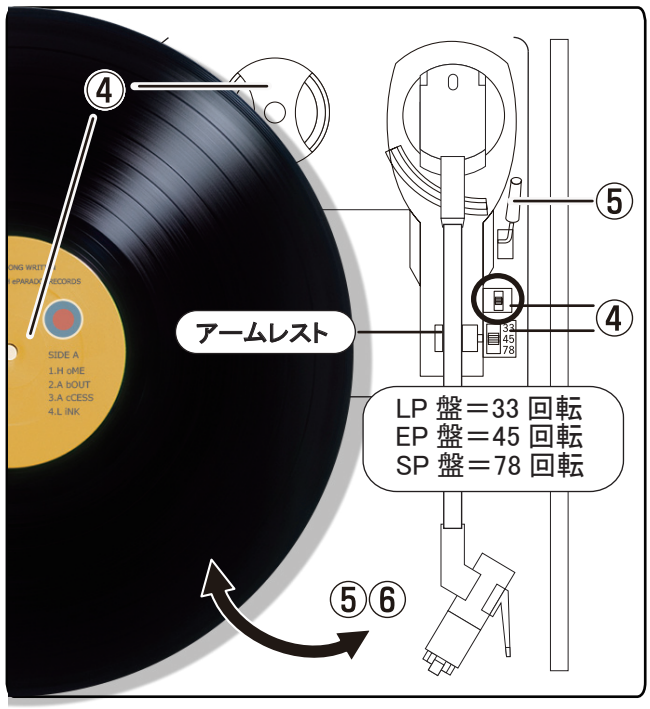
②本体の電源を入れる

●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。





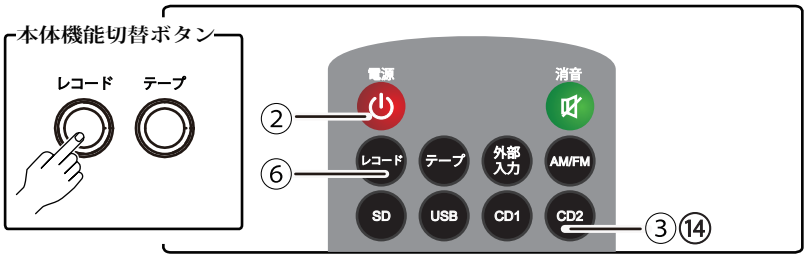


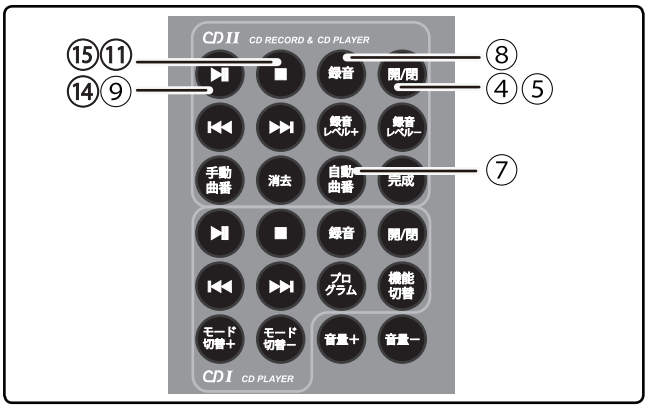


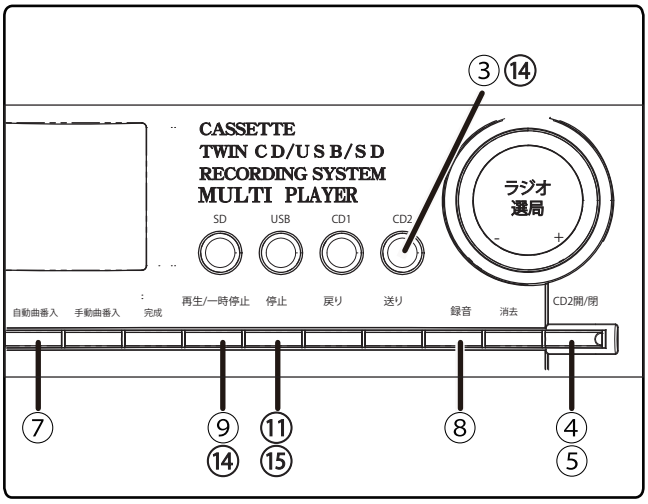
注意！ AUTO STOPスイッチを「ON」手前側に切替た場合、レコード終演時にターンテーブルの回転が自動で停止します。但し、EP盤（ドーナツ盤）の場合途中で停止する場合はスイッチを奥側の「OFF」に切替えてご使用ください。

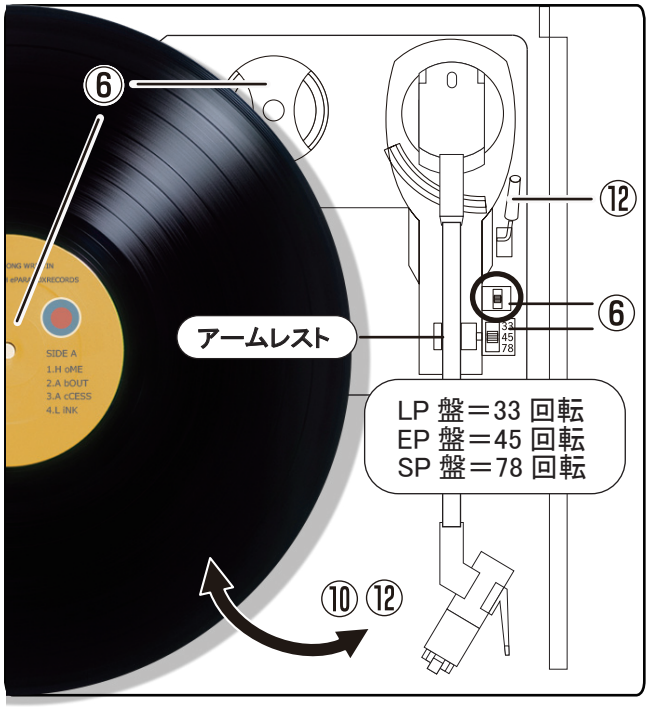
レコードからCDへの録音方法

①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③CD2ボタンを押す。　「---NO disc 」表示
④CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを開く。
「OPEN」表示
・文字/写真が印字面を上にしCDをセットする。
⑤CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを閉じる。
「busy」表示
・必ず開閉ボタンで閉じる（指で押込まない）
・空のCD（認識可の場合）「000 00:000」表示
・エラー（認識否の場合）「NO disc 」表示
・追加録音の場合は「NO TOC 」表示、前に録音されている曲数分秒数が表示されます。
⑥本体/リモコンでレコードボタンを押す 。「PHON 」表示
・ターンテーブルにレコードをセットし回転数を合わせます。「EP盤/ドーナツ盤」の場合はアダプターをセットします。
⑦自動曲番入ボタンを押す。「AUTO TRACK 」表示
⑧録音ボタンを押す。「REC 」表示
⑨CD 2 再生ボタンを押す。「録音再生秒数」表示
⑩レコードに針をのせます。
・アームリフトレバーの場合アームリフトレバーを奥に倒し、レコードの開始位置に「指で」合わせ、アームリフトレバーを手前にゆっくり倒します。
「スピーカーから音声が流れます/仮録音中」
⑪録音が終わったら、CD 2 停止ボタンで仮録音終了。
⑫アームをアームレストに「指で」戻します。
⑬B面（裏面）または別のレコードを続けて録音する場合はまず、アームを戻します。ターンテーブルが停止すると同時に録音が一時停止になります。B 面（裏面）または別のレコードに切替えしレコード針をレコードに乗せます録音が再開します。
仮録音 B 面終了後⑬
⑭録音したCDを聴くにはCD 2 ボタン押し、CD 2 再生ボタンで録音した曲を再生します。
⑮録音が確認できたら停止ボタンで再生を停止します。
※仮録音完了です。　「CD 2のみ再生できます」
※ファイナライズ方法はP.21参照ください
※アームをアームレストに戻すときはアームリフトレバーは使用しないでください。指でしっかりと戻してください。





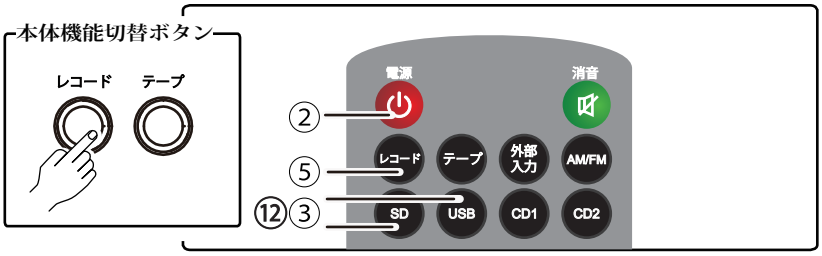


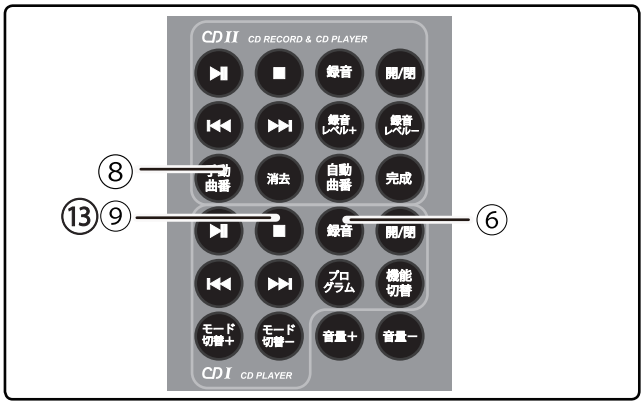


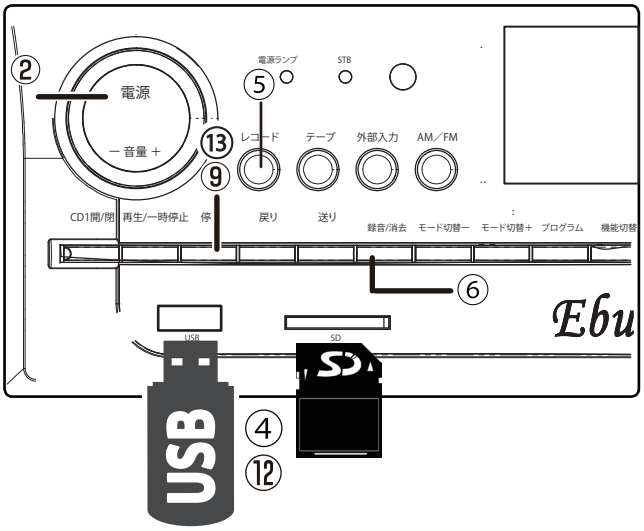
注意！ **AUTO STOPスイッチを「ON」手前側に切替えた場合、レコード終演時にターンテーブルの回転が自動で停止します。但し、EP盤（ドーナツ盤）の場合途中で停止する場合はスイッチを奥側の「OFF」に切替えてご使用ください。**

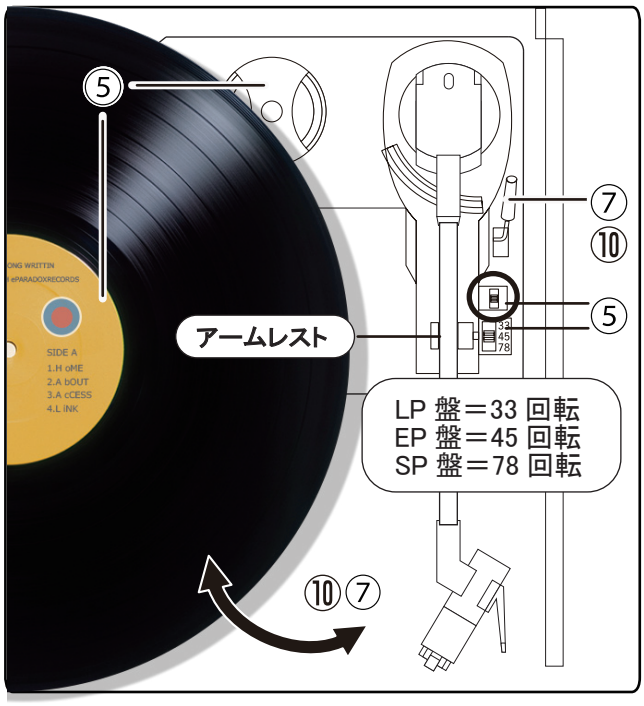
レコードからUSB/SDへの録音方法

①本体背面の主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンでUSBまたはSDボタンを押す。
・USBメモリーの場合　「 USB/NO」表示
・SDカードの場合　　「 CARD/NO 」表示
④ポートにメディアを差込みます。
・USBメモリーの場合 「 USB　/NOF 」表示
・SDカードの場合　　「 CARD /NOF」 表示
※曲が入っている場合は「例 015」曲数が表示され自動再生しますので停止ボタンで再生を停止します。
⑤本体/リモコンでレコードボタンを押す。「 PHON 」表示
・ターンテーブルにレコードをセットし回転数を合わせます。「EP盤/ドーナツ盤」の場合はアダプターをセットします。
⑥録音ボタンを押す。「REC 」「SD/USB」点滅表示
⑦レコードに針をのせます。
・アームリフトレバーの場合アームリフトレバーを奥に倒し、レコードの開始位置に「指で」合わせ、アームリフトレバーを手前にゆっくり倒します。
・スピーカーから音声が流れます/録音中
⑧USB/SDへ録音時は「AUTO TRACK 」表示されていても自動/手動曲番入りが機能上入りません。
曲番を入れる場合は一曲づつ停止をし、録音操作を繰返し行ってください。
⑨録音が終わったら、停止ボタンで録音終了。
「 END 」表示
⑩アームをアームレストに「指」でゆっくりと戻しターンテーブルが停止後、アームをアームレストにしっかり置いてください。
⑪B面（裏面）または別のレコードを続けて録音する場合は停止ボタンを押し、録音を停止します。
B 面（裏面）または別のレコードをセットします。
次に、⑥からの操作方法を繰り返します。
⑫録音したUSB/SDを聴くには本体/リモコンでUSB/SDボタン押します。ポートに録音したメディアを差込みます。
自動再生します。（差込まれたままの場合は自動再生）
⑬終了時は停止ボタンを押します









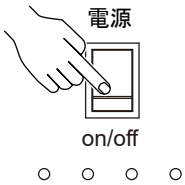
注意！

※アームをアームレストに戻すときはアームリフトレバーは使用しないでください。指でしっかりと戻してください。

カセットプレーヤーの使い方

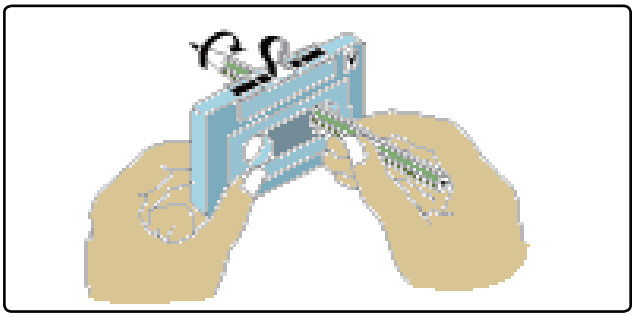
①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。



※主電源がOFFの場合は本体正面の電源ボタンを押しても電源は入りません。

①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③テープボタンを押す。　「TAPE」表示
④本体側面のカセットテープ挿入口に差込ます。
・再生したい面を上にして挿入。
・テープは(本機の外から中へ)巻き取られます。
・テープは自動再生します。
スピーカーから音声が流れます
⑤再生終了時には取出しボタンを「ぎゅっと」押します。
⑥早送り時は取出しボタンを半押しします。もう一度押すと再生します。
・本機は巻き戻しはありませんので巻き戻しの場合は一度テープを取出し、裏返にして早送りします。
・本機はオートリターン機能はありません。
A面→B面を聴く場合は一度テープを取出し、裏返しにし(B面を上)挿入します。

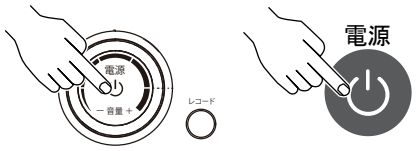


②本体の電源を入れる

●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。

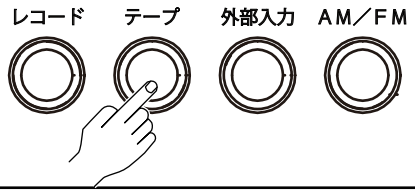
本体電源ボタン

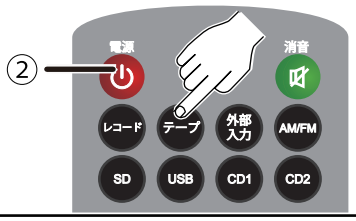
※ディスプレイが「青色」点灯します。

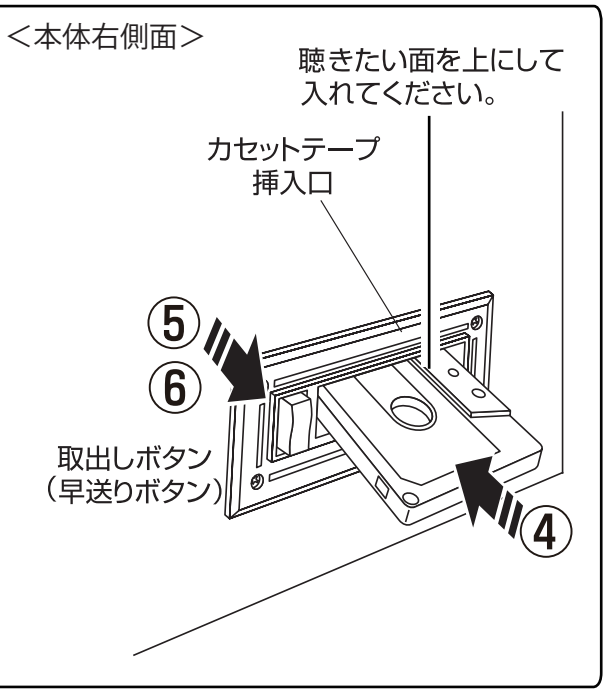


リモコン電源ボタン

機能切替ボタン







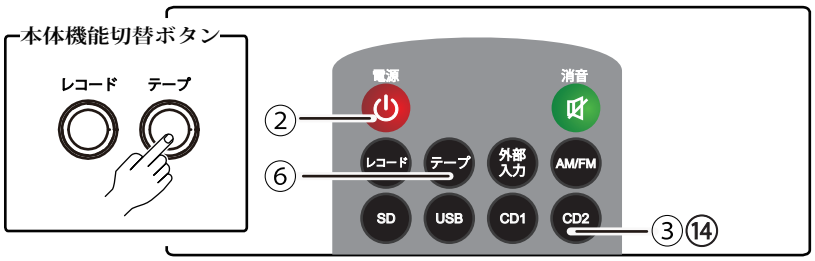
注意！

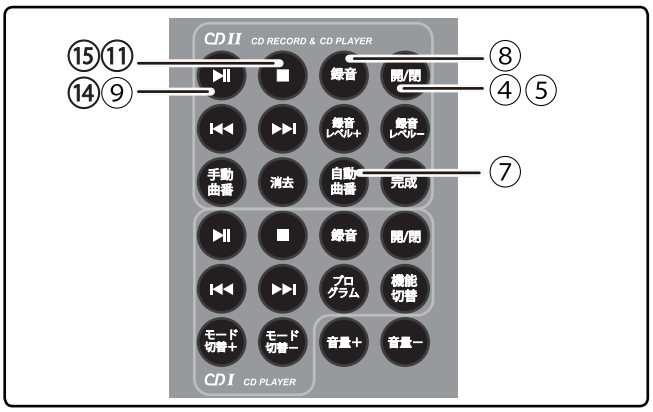
●機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの元になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。

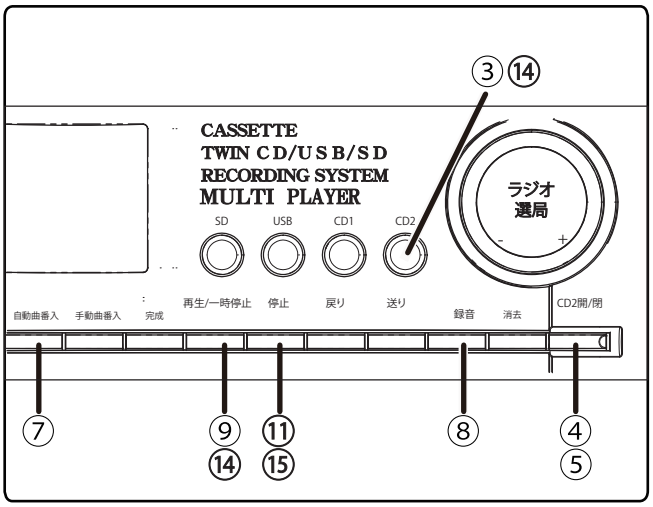
●使用するテープは、C-30、C-45、C-60タイプをご使用ください。C-90、C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。

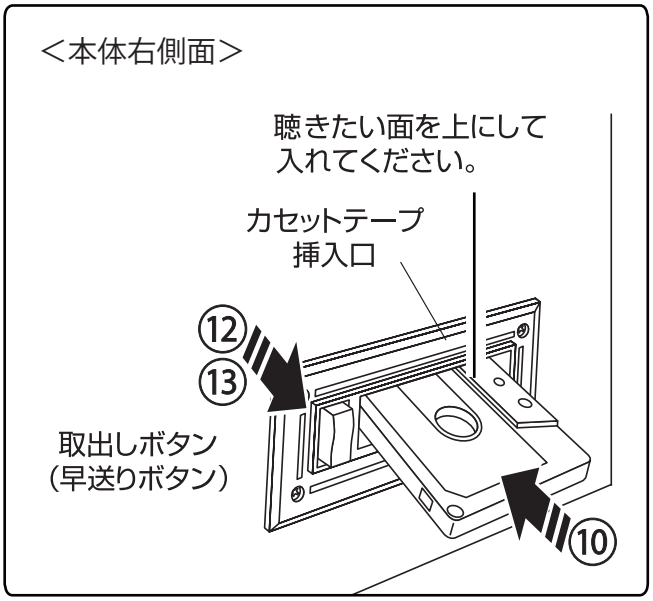
カセットテープからCDへの録音方法

①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンのCD2ボタンを押す。
「---NO disc 」表示
④CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを開く。
「OPEN」表示
・文字/写真が印字面を上にしCDをセットする。
⑤CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを閉じる。
・必ず開閉ボタンで閉じる(指で押込まない)
・空のCD(認識可の場合)「000 00:00」表示
・エラー (認識否の場合)「NO disc 」表示
・追加録音の場合は「例 015 21:25」曲数秒数表示
⑥本体/リモコンでテープボタンを押す。「 TAPE 」表示
⑦自動曲番入ボタンを押す。 「AUTO TRACK 」表示
⑧録音ボタンを押す。「REC 」表示
⑨CD 2 再生ボタンを押す。 「録音再生秒数表示」
⑩本体側面のカセットテープ挿入口に差込ます。
・再生したい面を上にして挿入。(仮 A 面)
・テープは(本機の外から中へ)巻き取られます。
・テープは自動再生します。
「スピーカーから音声が流れます/仮録音中」
⑪録音が終わったら、CD 2 停止ボタンで仮録音終了。
⑫本機側面の取出しボタンを「ぎゅっと」押しテープを取出します。
⑬B面(裏面)または別のカセットテープを続けて録音する場合は、テープを取出します。録音が一時的に停止します。次に B 面または別のカセットテープ)挿入します。録音が再開します。
このとき A 面がの曲が最後まで終了していないと裏返の際に一曲目の途中からの録音になりますので早送りをして曲の最後にしてから行ってください。
仮録音 B 面終了後⑬
⑭録音したCDを聴くにはCD 2 ボタン押し、CD 2 再生ボタンで録音した曲を再生。「録音した曲数分秒表示」
・スピーカーから音声が流れます。
⑮録音が確認できたら停止ボタンで再生を停止します。
※仮録音完了です。「CD 2のみ再生できます」
※ファイナライズ方法はP.21参照ください



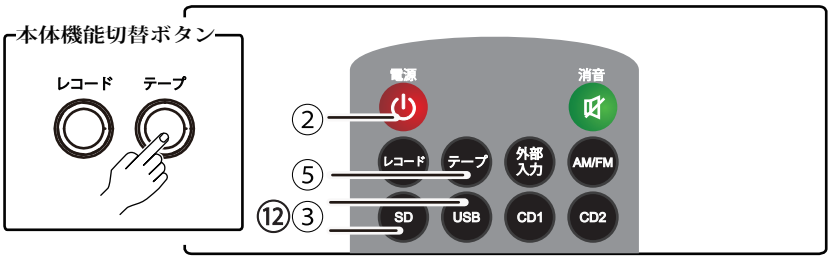


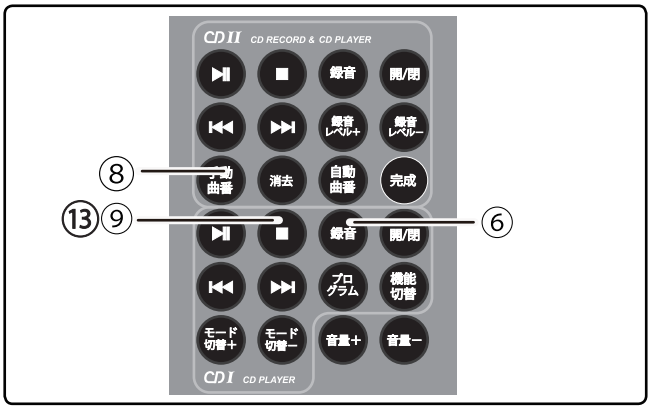


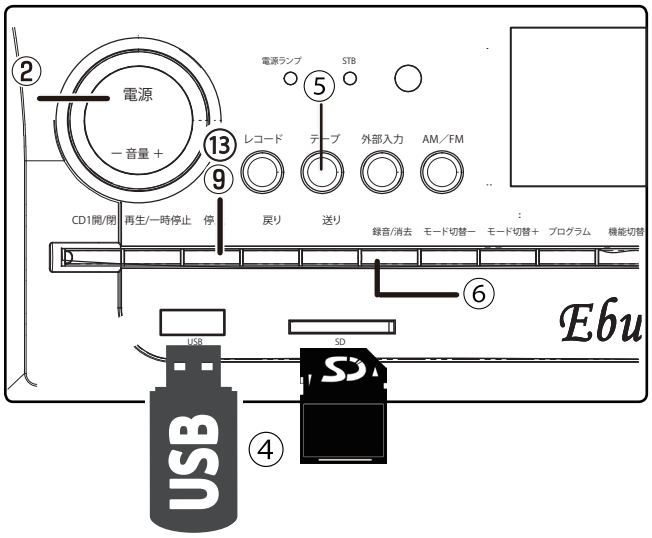


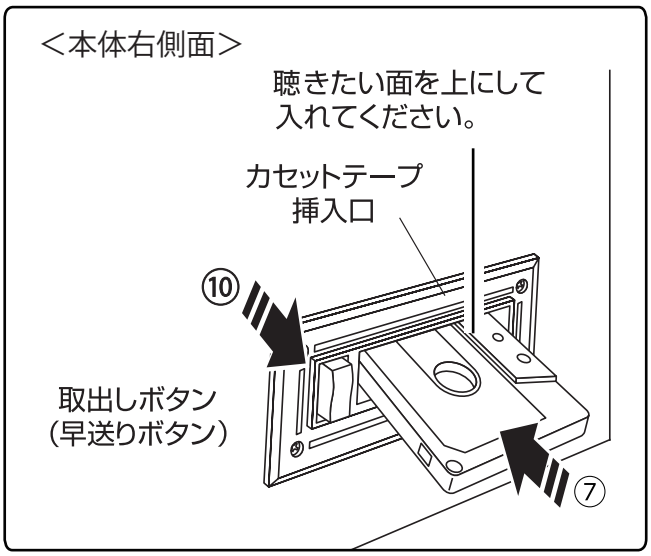
カセットテープからUSB/SDへの録音方法

①本体背面の主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンでUSBまたはSDボタンを押す。
・USBメモリーの場合「 USB /NO 」表示
・SDカードの場合　「 SD / NO」 表示
④ポートにメディアを差込みます。
・USBメモリーの場合「 USB / NOF」表示
・SDカードの場合　「 SD / NOF」表示
※曲が入っている場合は自動再生しますので停止ボタンで再生を停止します。
⑤本体/リモコンでテープボタンを押す。「 TAPE」表示
⑥録音ボタンを押す。「REC 」「USB/SD」点滅表示
⑦本体側面のカセットテープ挿入口に差込ます。
・再生したい面を上にして挿入。(仮 A 面)
・テープは(本機の外から中へ)巻き取られます。
・テープは自動再生します。
スピーカーから音声が流れます/録音中
⑧USB/SDへ録音時は「AUTO TRACK 」表示されていても自動/手動曲番入りが機能上入りません。
曲番を入れる場合は一曲づつ停止をし録音操作を繰返し行ってください。
⑨録音が終わったら、停止ボタンで録音終了。
「 END 」表示
⑩本機側面の取出しボタンを「ぎゅっと」押しテープを取出します。
⑪B面(裏面)または別のカセットテープを続けて録音する場合は停止ボタンを押し、録音を停止します。
B 面(裏面)または別のテープを用意しておきます。
次に、⑥からの操作方法を繰り返します。
このとき A 面がの曲が最後まで終了していないと裏返の際に一曲目の途中からの録音になりますので必ず早送りをして曲の最後にしてから行ってください。
録音 B 面終了後⑨
⑫録音したUSB/SDを聴くには本体/リモコンでUSB/SDボタン押します。ポートに録音したメディアを差込みます。
自動再生します。(差込まれたままの場合は自動再生)
⑬終了時は停止ボタンを押します



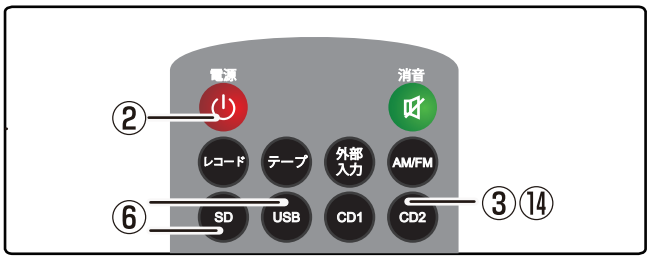


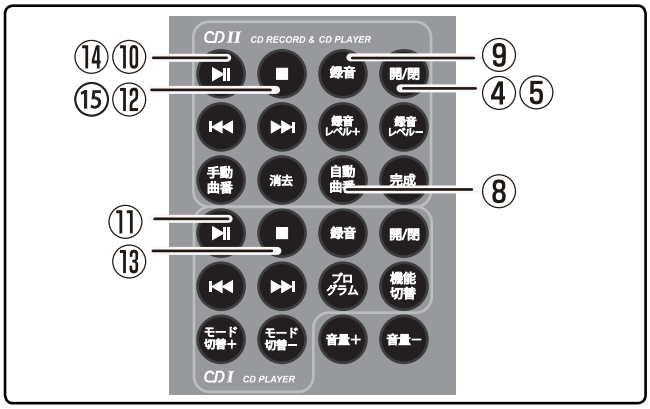


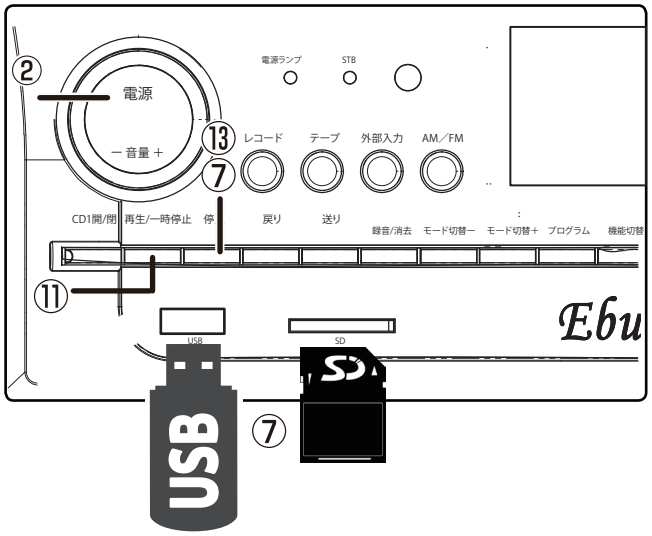


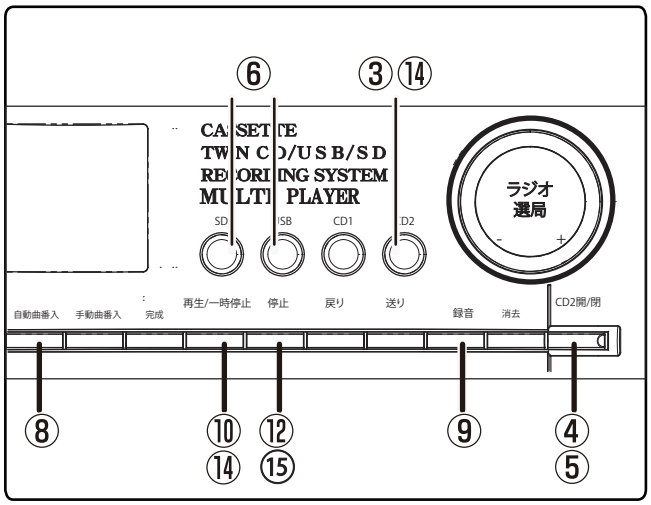
USB/SDからCDへの録音方法

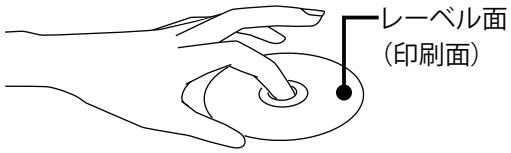
①本体背面の主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンでCD2ボタンを押す。「---NO disc 」表示
④CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを開く。「OPEN」表示
・文字/写真が印字面を上にしCDをセットする。
⑤CD2開閉ボタンを押しCD2トレーを閉じる。
・必ず開閉ボタンで閉じる(指で押込まない)
・空のCD(認識可の場合)「000 00:00」表示
・エラー (認識否の場合)「NO disc 」表示
・追加録音の場合は「例 015 21:25」曲数秒数表示
⑥本体/リモコンでUSBまたはSDボタンを押す。
・USBメモリーの場合　「 USB / NO」表示
・SDカードの場合　「 CARD / NO」表示
⑦ポートにメディアを差込みます。「曲数」表示
・USBメモリーの場合「 例 004 表示」
・SDカードの場合　「 例 004 表示」
※自動再生しますので停止ボタンで再生を停止します。
⑧自動曲番入ボタンを押す。「AUTO TRACK 」表示
⑨録音ボタンを押す。「REC 」表示
⑩CD 2 再生ボタンを押す。「録音再生秒数」表示
⑪USBまたはSDの再生/一時停止ボタンを押す。
スピーカーから音声が流れます/仮録音中
⑫録音が終わったら、CD2停止ボタンで録音終了。
⑬USBまたはSDの停止ボタンを押し再生を停止します。
・仮録音終了です。
⑭録音したCDを聴くにはCD 2 ボタン押し、CD 2 再生ボタンで録音した曲を再生します。
「録音した曲数分秒数」表示
・スピーカーから音声が流れます。
⑮録音が確認できたら停止ボタンで再生を停止します。
※仮録音完了です。「CD 2のみ再生できます」
⑯追加録音をする場合は録音残容量を確認し⑥から繰り返し録音操作を行ってください
※ファイナライズ方法はP.21参照ください









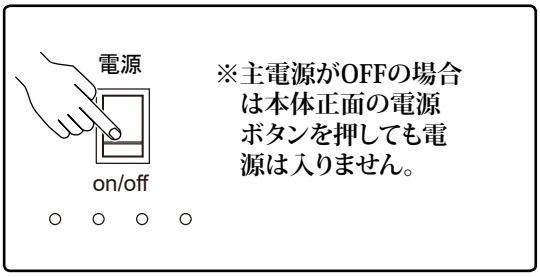


注意！ CDが汚れていたり、傷があると読取ができなく再生しません。
再生出来ない場合は読取面「キラキラ光っている面」をキレイにしてから再度お試しください。

外部入力の使い方/外部機器からCD/USB/SDへの録音方法

①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。



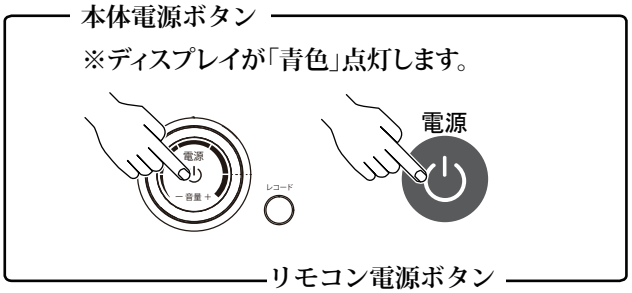
①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンの外部入力ボタンを押す。「AUX」表示
④外部機器の音楽プレーヤーを本機と付属ケーブルで接続します。(3.5mmミニジャックケーブル)
・外部機器の音楽プレーヤーの音量を「0」にします。
⑤外部機器を再生します。(徐々に音量を上げます)
スピーカーから音声が流れます
・外部機器の音量と本機の音量調節でお好みの音量に調節します。

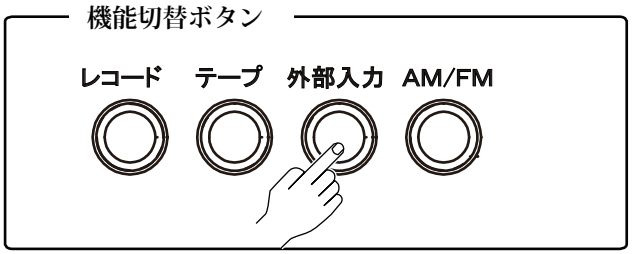
外部機器からCD/USB/SDへの録音方法

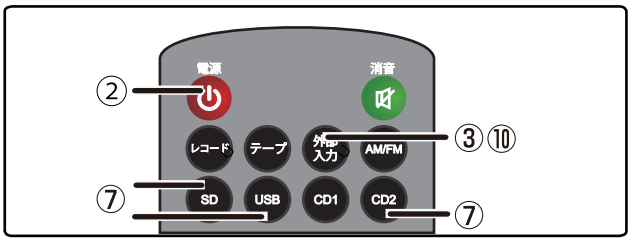
⑥上記⑤再生を確認後外部機器の再生を停止します。
⑦本体/リモコンで録音保存したいメディアのボタンを押します。 CD2／USB／SD 「CD/USB/SD」表示
⑧CDの場合は空のCDをCD2トレーにセットします。
⑨USB/SDの場合はメディアをポートに差込みます。
⑩外部入力ボタンを押します。「AUX」表示
自動曲番入りボタンを押します。「AUTO TRAC」表示
⑪録音ボタンを押します。「REC」「SD/USB」点滅表示
・USB/SDの場合はこの時点で録音がスタートします。
スピーカーから音声が流れ/録音中
・CDの場合はCD２再生ボタンを押し、次に外部機器を再生します。「スピーカーから音声が流れ/仮録音中」
⑫USB/SDは自動/手動曲番が機能上入りません。
⑩で自動曲番入りボタンを押しておりますが曲番を入れる場合は曲終了時に停止ボタンを押し一曲づつ繰返し録音操作が必要になります。
※音量は外部機器の音量で調節してください。
録音時の本機音量調節±は録音時は関係ありません。
⑬録音終了時はCDの場合はCD2の停止ボタンを押します。
・USB/SDの場合はCD1の停止ボタンを押します。
⑭外部機器の再生を停止します。

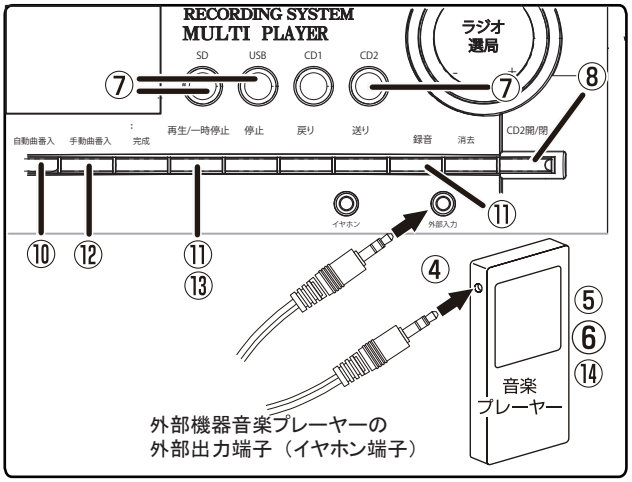
②本体の電源を入れる

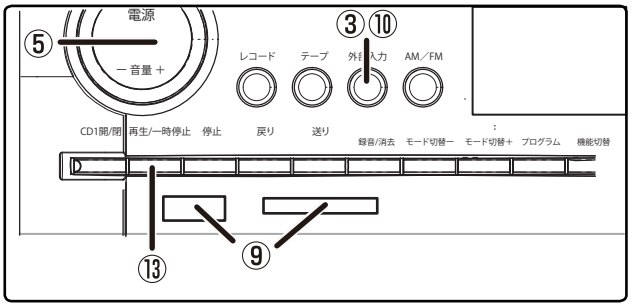
●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。











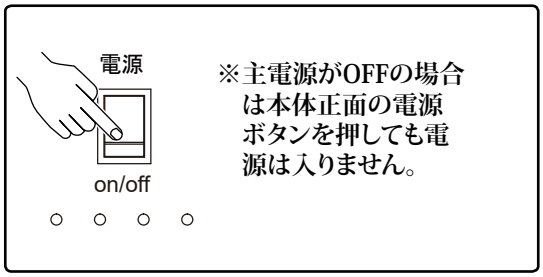
注意！

●接続する音楽プレーヤーの出力によって本機再生/録音も異なります。また、出力音量の大きさによっても録音後の再生に差が生じます。特に出力10w以上のプレーヤーの本機接続は互換性により故障の原因になることがありますのでお止めください。

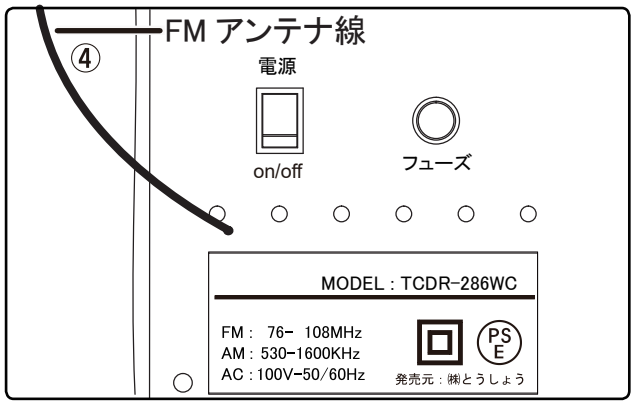
ラジオの使い方

①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。

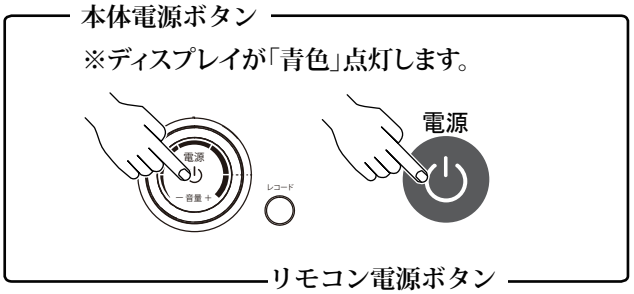


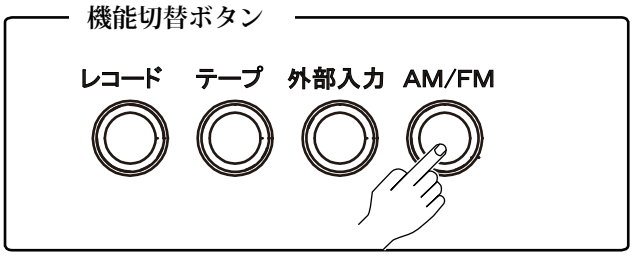
①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンのAM/FMボタンを押す。「 TUNE 」表示
FMを聴く場合はそのまま選局ダイヤルでお好みの放送局に合わせます。「例:FM 79.5 MHz」
もう一度AM/FMボタンを押すとAMに切替わります。
「例:AM 59.4 KHz」
④FMの場合は本体背面「コードアンテナ」を使用し受信しやすい位置に調整してください。
⑤AMの場合は内部アンテナです。本機を受信しやすい向き、場所でご使用ください。

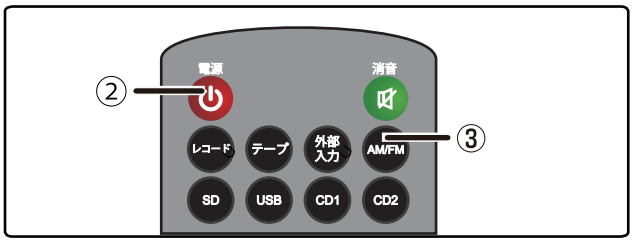


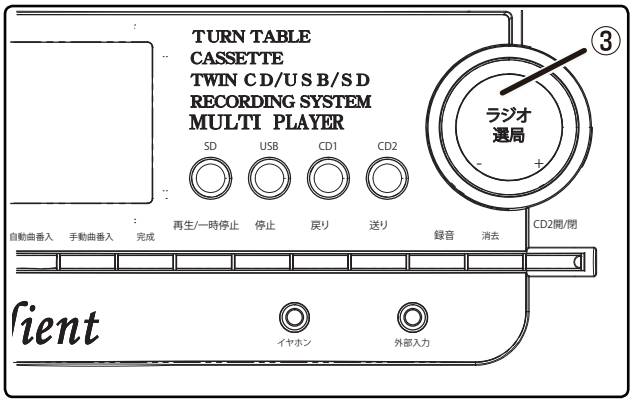
②本体の電源を入れる

●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。









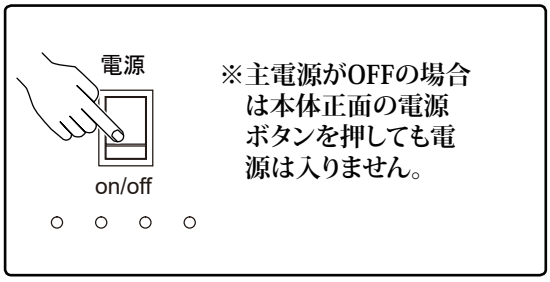
注意！

●ラジオの受信状態について
・本機のラジオ受信機能はＦＭラジオ本体背面のアンテナ線の向き、ＡＭラジオは本機自体の向き及び設置位置により受信状態が大きく変わります。受信しづらい場合は本機設置位置を変えていただき受信しやすい場所でご使用ください。
●山間部や集合住宅地、鉄筋建造物、高層住宅では受信が困難な場合もございます。

完成処理（ファイナライズ）／CD-RW完成処理解除方法

①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。



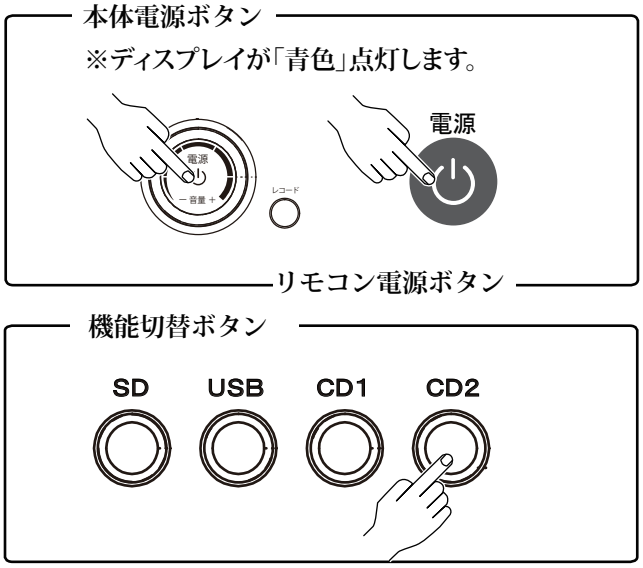
①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンのCD2ボタンを押す。
④CD2開閉ボタンを押し、トレーを開きます、CD2トレーに録音したCD-R/RWをセットし開閉ボタンで閉じます。
・録音した曲の曲数分秒数が表示されます。
「例 015 21:25」表示
⑤完成ボタンを押します。　「FIN-d」表示
・FIN-dがでない場合　「NO TOCなし」既に完成処理済
・録音時間最大74分以上→空き容量不足。
・完成処理で約５分程の容量が必要になりますので録音は74分以内にしてください。
⑥CD2再生ボタンを押す。　「---busy」表示
・録音分数にもよりますが約１分～２分で自動的にトレーが開き完成です。　「OPEN」表示

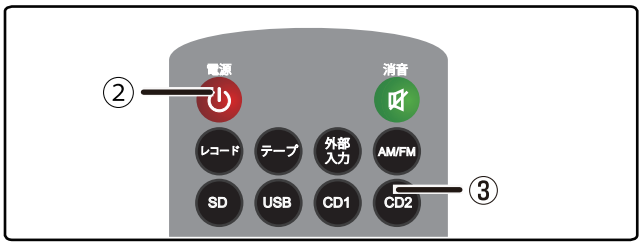
録音したCD-RWの完成済を解除する方法

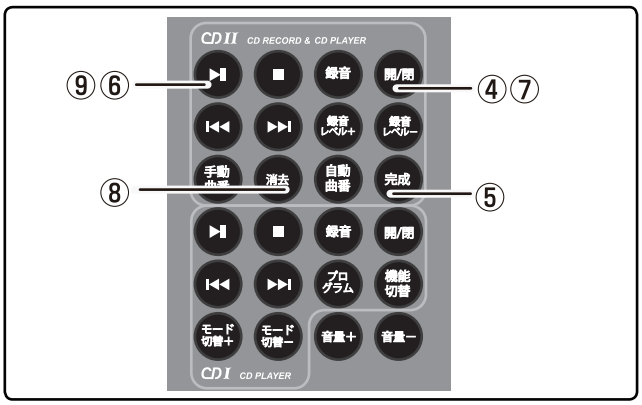
⑦CD2トレーに、完成処理済のCD-RWをセットします。
・録音曲数分秒数が表示　「例 015 21:25」表示
⑧全曲消去方法、消去ボタンを２回押します。
・「Er-ALL」表示中に、⑨再生/一時停止ボタン押す。
・全曲消去完了　「000 00:00」表示
⑧完成処理解除方法、消去ボタンを１回押します。
・「UN FIN-d」表示中に、⑨再生/一時停止ボタンを押す。
※録音残容量があれば追加録音ができます。
⑧一曲消去方法、完成処理解除操作後に消去ボタンを押します。
・「例 Er-15」表示中に、⑨再生/一時停止ボタンを押す。
「Er-14」録音した最後曲のみ消去「014 19:12」表示
※例：１０曲中／５曲目だけの消去はできません。
※曲消去は録音した最後の曲から一曲づつまたは全曲全てのみです。

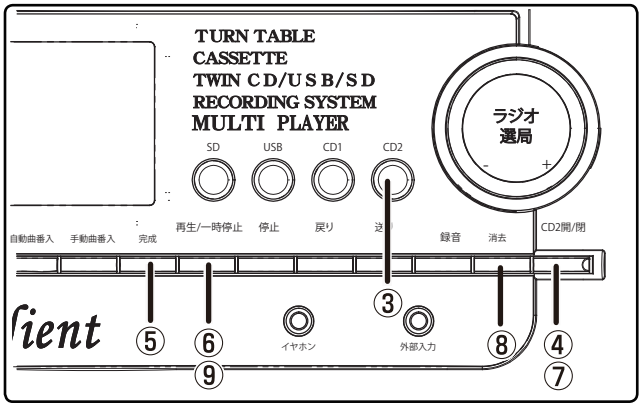
②本体の電源を入れる

●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。









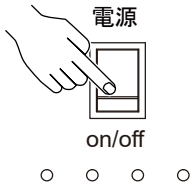
注意！

・CD−Rは録音残容量があれば追加録音は可能ですが、消去は一切できません。
・完成処理（ファイナライズ）を行った後は録音残容量があっても追加録音できません。
・完成処理前でも本機CD2では再生可能です。完成処理後は本機CD1/他のプレーヤーでの再生も可能になります。

SDの使い方／曲データの消去方法

①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。



※主電源がOFFの場合は本体正面の電源ボタンを押しても電源は入りません。

①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンでSDボタンを押す。「 CARD/NO 表示 」
④SDポートにSDカードを差込みます。
・曲が入っている場合は自動再生されます。
「例 : 020」曲数表示
スピーカーから音声が流れます
・再生フォルダを変更する場合はモード切替±ボタンを押して選曲フォルダを変更します
⑤終演時はCD 1の停止ボタンを押します。
⑥再生／一時停止「一時的に再生を停止」もう一度押すと再生を再開します。
⑦送り／戻りボタンで選曲ができます。

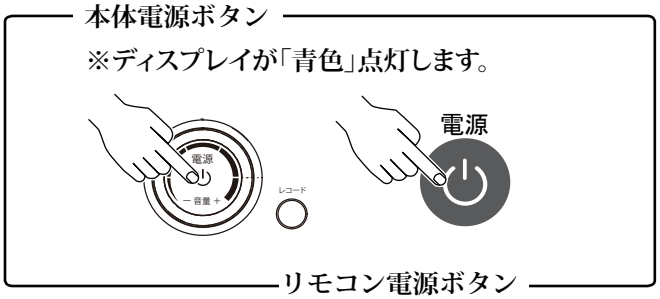
曲データの消去方法

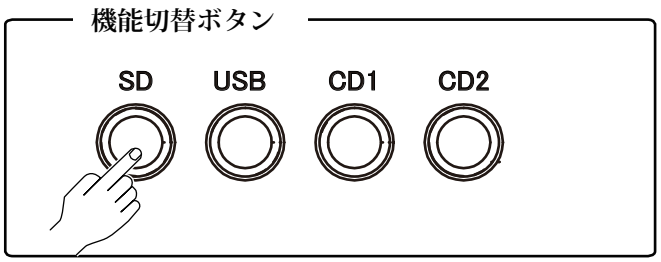
⑧録音されている曲を消去する場合は、まず消去したい曲を再生し、録音/消去ボタンを長押し
「DEL⇒ONE 表示」
⑨一曲だけの消去方法
「DEL表示」点滅中、「送り/戻りボタン」で消去選択をし、「ONE 表示」録音/消去ボタンを押します。
⑩全曲消去方法
「DEL表示」点滅中、「送り/戻りボタン」で消去選択をし、「DIR 表示」録音/消去ボタンを押します。
⑪SDファイル内全曲消去方法
「DEL表示」点滅中、「送り/戻りボタン」で消去選択をし、「ALL 表示」録音/消去ボタンを押します。

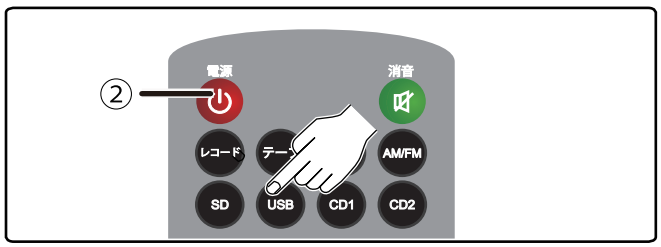
※全ての曲データを消去してもSDカード内にフォルダは残ります。フォルダも消去する場合は機能上本機ではできません。PCでフォーマット処理を行ってください。

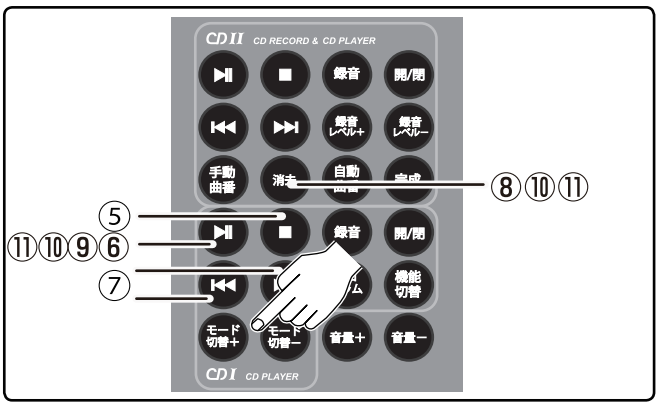
②本体の電源を入れる

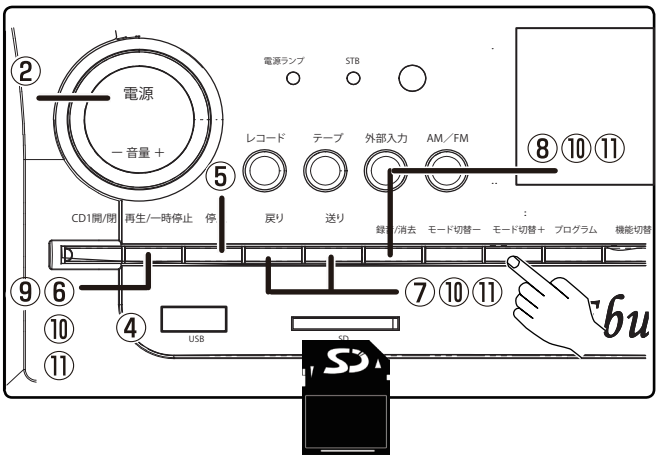
●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。









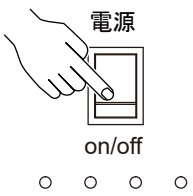


注意！ ●他の、機器（デジカメ・PC）で使用済のUSBメモリー/SDカードは使用できません。本機挿入時「ERR」表示が出た場合も同様です。ご使用前に必ずPCでフォーマット（初期化）を行ってからご使用ください。

USBの使い方／曲データの消去方法

①本体背面の主電源を入れる

●本機背面の「主電源」をONにします。



※主電源がOFFの場合は本体正面の電源ボタンを押しても電源は入りません。

①主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
③本体/リモコンでUSBボタンを押す。「 USB /NO」表示
④USBポートにUSBメモリーを差込みます。
・曲が入っている場合は自動再生されます。
「例：020」曲数表示
スピーカーから音声が流れます
・再生フォルダを変更する場合はモード切替±ボタンを押して選曲フォルダを変更します
⑤終演時はCD 1の停止ボタンを押します。
⑥再生／一時停止「一時的に再生を停止」もう一度押すと再生を再開します。
⑦送り／戻りボタンで選曲ができます。

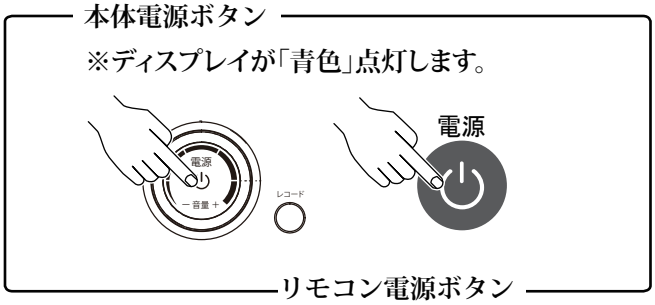
曲データの消去方法

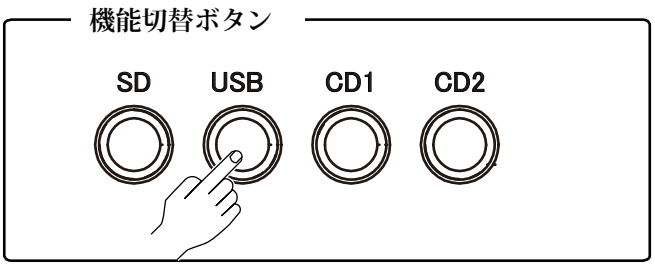
⑧録音されている曲を消去する場合は、まず消去したい曲を再生し、録音/消去ボタンを長押し
「DEL⇒ONE 表示」
⑨一曲だけの消去方法
「DEL表示」点滅中、「送り/戻りボタン」で消去選択をし、「ONE 表示中」録音/消去ボタンを押します。
⑩全曲消去方法
「DEL表示」点滅中、「送り/戻りボタン」で消去選択をし、「DIR 表示中」 録音/消去ボタンを押します。
⑪USBファイル内全曲消去方法
「DEL表示」点滅中、「送り/戻りボタン」で消去選択をし、「ALL 表示中」 録音/消去ボタンを押します。

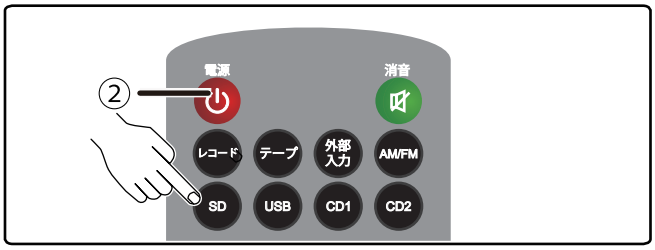
※全ての曲データを消去してもUSBメモリー内にフォルダは残ります。フォルダも消去する場合は機能上本機ではできません。PCでフォーマット処理を行ってください。

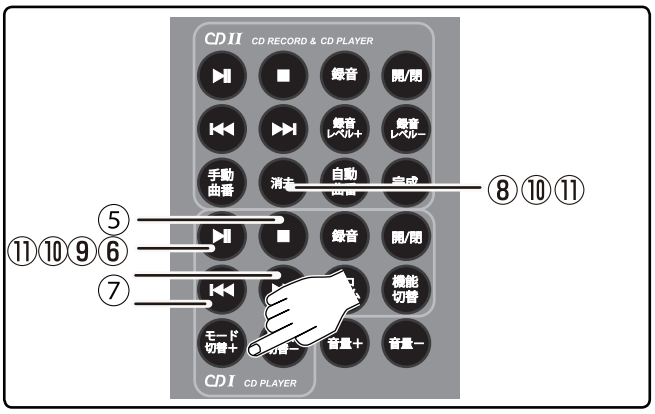
②本体の電源を入れる

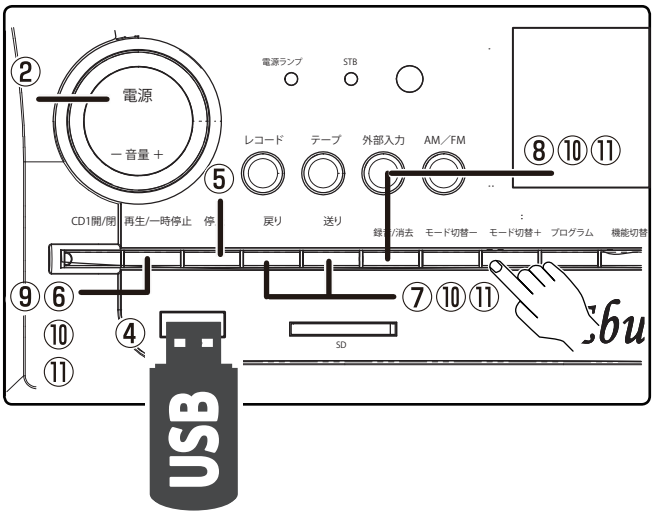
●本体またはリモコンの「電源」ボタンを押します。









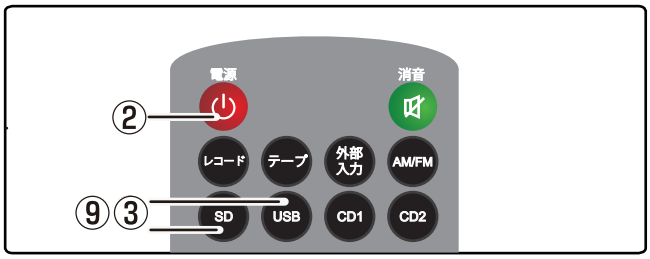


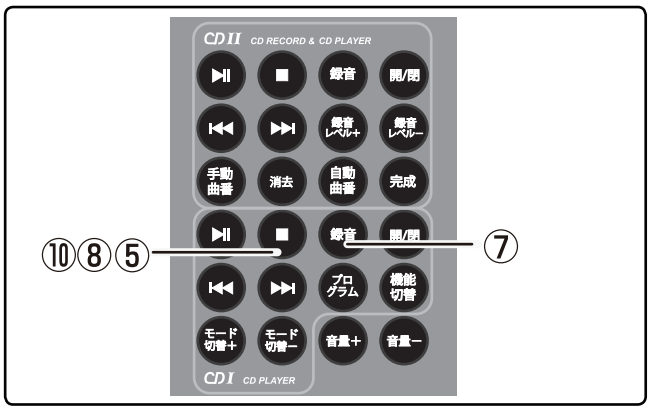
注意！

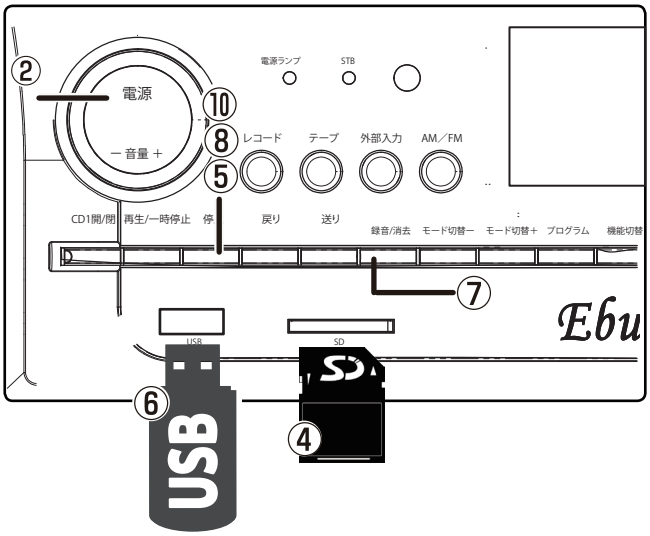
●他の、機器（デジカメ・PC）で使用済のUSBメモリー/SDカードは使用できません。本機挿入時「ERR」表示が出た場合も同様です。ご使用前に必ずPCでフォーマット（初期化）を行ってからご使用ください。

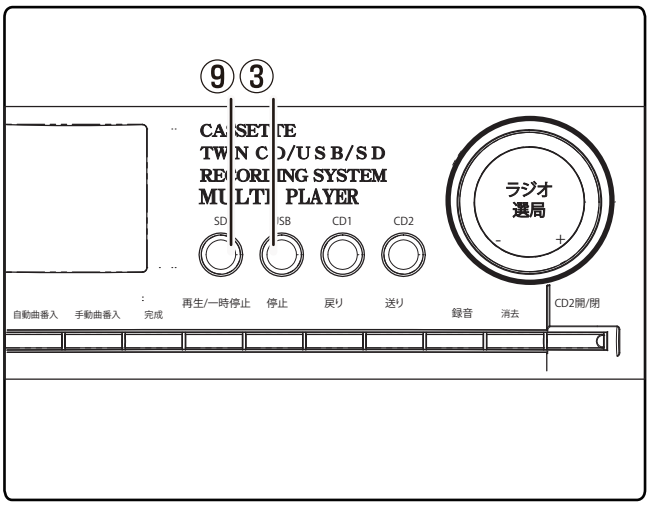
USB⇔SDの相互録音方法

①本体背面の主電源スイッチを入れる。
②本体/リモコンで電源ボタンを押す。
※下記はSDからUSBへの操作方法です。USBからSDへの録音の場合はSD/USB表示を内容を反対にして操作を行ってください。
③本体/リモコンでSDボタンを押す。「 CARD/NO」 表示
④SDポートにSDカードを差込みます。
「例 : 020」曲数表示、スピーカーから音声が流れます。
・自動再生します
⑤停止ボタンを押し再生を停止します。
⑥USBポートにUSBメモリー(空)を差込みます。
⑦録音ボタンを押す。「REC /DIR/ONE 」表示
・送り/戻りボタンを押し録音したい内容を選択します。
１)一曲だけの場合「ONE」表示中に録音ボタンを押す。
２)フォルダ内の全ての曲を録音する場合は
「ALL」表示中に録音ボタンを押す。
3)全ての曲を録音する場合は
「DIR」表示中に録音ボタンを押す。
※「WAI 」表示され録音開始しカウントが動きだします。
カウントが停止しましたら録音終了
⑧停止ボタンを押す。
⑨録音したUSBを聴くにはUSBボタン押します。
・録音した曲が自動再生しスピーカーから音声がでます。
⑩録音が確認できたら停止ボタンで再生を停止します。
⑪追加録音をする場合は録音残容量を確認し⑦から繰り返し録音操作を行ってください
※USB/SDへの録音の場合は完成処理(ファイナライズ)は必要ありません。
※USB/SDへの録音または再生はどちらか片方のみです。両方同時に再生/録音はできません。
※USB/SDを使用する場合は中に新しいものをご使用してください。写真や他のプレーヤー等でのデータが入っている場合互換性の問題で不具合の原因になります。









日常のお手入れ

⚠ 注意

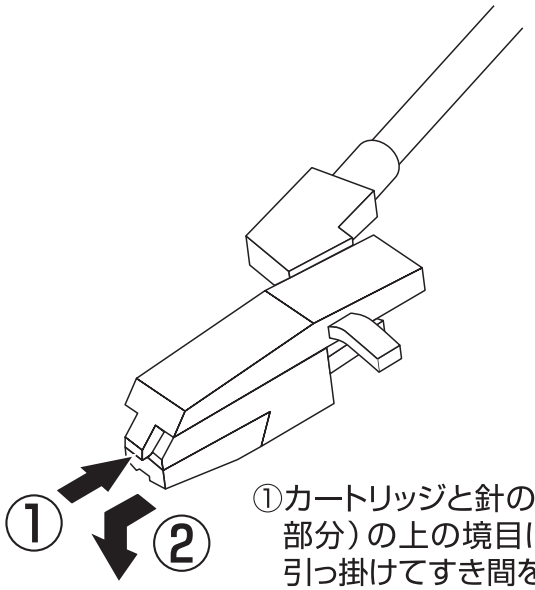
●高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

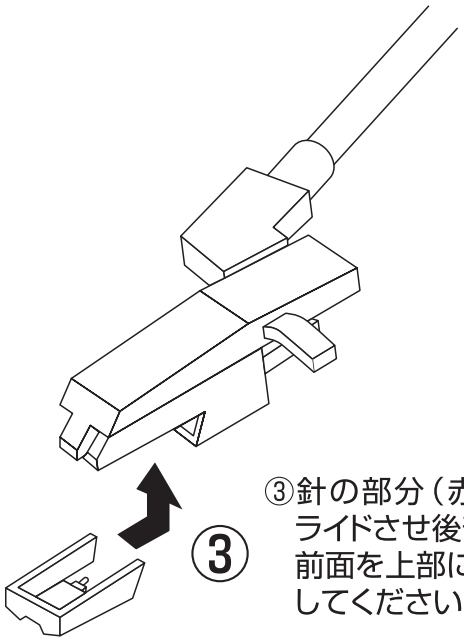
●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行なってください。
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換方法（別売品）



①カートリッジと針の部分（赤い部分）の上の境目に指の爪を引っ掛けてすき間を作ります。
②前面にスライドさせ外します。



③針の部分（赤い部分）をスライドさせ後部分はめ込み、前面を上部に押込み、セットしてください。

注　意

●レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
●針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症　状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●スピーカープラグが抜けていませんか？ ●音量は十分ですか? ●イヤホンをジャックにさしたままになっていませんか？
リモコン	リモコンが 使えない	●本体（背面）主電源スイッチはONになっていますか？ ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?（約2m以内） ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
CDレコーダー	再生できない 音が出ない	●CDボタンを押して選択しましたか? ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。 ●ファイラナイズ（完成処理）しましたか?していないと他のCDプレーヤーで再生できません。 ●CD-RWで作ってファイナライズしたCDでも、CD-RWの再生機能がない他の機器では再生できませんのでご注意ください。
	録音できない	●音楽用のCD-RまたはCD-RW使用していますか? ●録音されてない空のCDディスクですか?
レコード プレーヤー	ターンテーブル が回らない 音が出ない	●レコードボタンを押して選択しましたか? ●針の保護カバーを前方にスライドさせ、はずしてありますか? ご確認ください。
カセットテープ	テープが 入らない 回らない	●テープは正しく録音さたものですか? ●テープボタンを押して選択しましたか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか？
ラジオ	音が出ない	●ラジオボタンを押して選択しましたか? ●AM・FMの選択はラジオボタンを押すたびに切換ります。 どちらかを選択しましたか? ●ラジオ選局ツマミでお聴きになりたい番組に周波数を合わせましたか?
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。 （FM受信時） ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。（AM受信時）
SD カード USB メモリー	録音 / 再生 出来ない Err 表示が出る	●SD カード左横にある Lock スイッチを解除して下さい。 ●他の機器（デジカメ、パソコン等）で使用した SD カード /USB メモリーは使用できません。パソコンをお持ちの方はフォーマットを行って下さい。 ●メモリー（記録機能）が破損している可能性があります。 他の SD カード /USB メモリーをご使用下さい。

ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名（表紙右上表示）、②お買い上げ日、③お買い上げ販売店、④故障症状、⑤症状によっては製品を一緒に動作確認させていただく場合がありますので、製品を近くにご用意ください。具体的な症状をご確認の上ご連絡ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合せについてご覧いただけます。
http://www.tohshoh.jp

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244
FAX 048-997-2082
受付時間　月～金　9:30～17:30　休業日　土･日･祝日

cs@tohshoh.jp
株式会社とうしょう　カスタマーサービス
〒340-0802　埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

保　証　書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品 名	ＣＤにコピーできる多機能プレーヤー	型番：ＴＣＤＲ－２８６ＷＣ
お客様	お名前	ご住所 電話番号　（　　）
お買上げ日 年　月　日		取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間 （お買上げ日より）	本体１年 （但し消耗品は除く）	

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
   ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   ②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
   ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
   ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
   ⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
   ⑥本書のご提示がない場合。
   ⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜製品部品の保有期間＞　部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。
※一年間は無料修理を行います。但し、お買い上げより一ケ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いします。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。